



Fukuoka Financial Group

第10回 会社説明会

2009年度決算
および
2010年度業績予想

2010年5月19日

ふくおかフィナンシャルグループ

本日の構成

Part I 2009年度決算および2010年度業績予想

● 2009年度決算概要	・ ・ ・	03
● 2010年度業績予想	・ ・ ・	04
● 国内貸出金	・ ・ ・	05
● 預金・NCD	・ ・ ・	06
● 利回り・利鞘	・ ・ ・	07
● 有価証券	・ ・ ・	08
● 非金利収益	・ ・ ・	09
● 経費	・ ・ ・	10
● 信用コスト・不良債権	・ ・ ・	11
● 自己資本比率	・ ・ ・	12

Part II FFGの経営戦略

● 第二次中計の総括と第三次中計の展望	・ ・ ・	14
● 第二次中計の成果と主要計数の推移	・ ・ ・	15
● 中小企業取引	・ ・ ・	16
● 個人取引	・ ・ ・	17
● 生産性の劇的な向上	・ ・ ・	18

Part III 計数資料

● 2010年度業績予想	・ ・ ・	20
● トップライン（子銀行別）	・ ・ ・	21
● 国内貸出金計画	・ ・ ・	24
● 貸出金：業種別	・ ・ ・	25
● 預金・NCD計画	・ ・ ・	26
● 利回り	・ ・ ・	27
● 有価証券計画	・ ・ ・	28
● 資産運用商品販売	・ ・ ・	29
● 経費計画	・ ・ ・	30
● 信用コスト・不良債権	・ ・ ・	31
● 自己資本比率	・ ・ ・	32
● 債務者区分遷移	・ ・ ・	33
● 引当・保全状況	・ ・ ・	36

Part IV 参考資料

● 福岡・熊本・長崎の経済概況	・ ・ ・	40
● 景気動向	・ ・ ・	41
● 生産動向	・ ・ ・	42
● 設備投資・住宅投資	・ ・ ・	43
● 地価動向	・ ・ ・	44
● 企業倒産	・ ・ ・	45
● 貸出金	・ ・ ・	46
● 預金	・ ・ ・	47
● 主な経済指標	・ ・ ・	48

スピーカー

取締役会長兼社長

谷 正明

取締役執行役員

柴戸 隆成

Part I

2009年度決算
および
2010年度業績予想

2009年度 決算概要

損益（3行単体合算）

（億円）

	3行単体合算		福岡銀行(単体)		熊本ファミリー銀行(単体)		親和銀行(単体)	
	09年度	前年比	09年度	前年比	09年度	前年比	09年度	前年比
	【計画比】							
業務粗利益	1,931	▲201	1,357	▲148	241	▲5	333	▲48
資金利益	1,629	▲40	1,133	▲6	213	▲10	282	▲23
国内部門	1,566	▲42	1,076	▲8	213	▲10	277	▲24
国際部門	63	2	58	2	1	0	5	1
非金利収益	302	▲240	224	▲154	27	▲15	51	▲71
うち役務等利益	212	▲15	150	▲12	17	▲2	46	▲1
うち債券関連	39	▲220	28	▲146	8	▲6	3	▲68
経費	1,138	▲39	731	▲11	169	▲5	238	▲23
一般貸倒引当金	72	▲289	144	▲138	23	▲37	▲95	▲114
業務純益	721	▲49	482	▲20	49	▲27	190	▲42
コア業務純益	754	▲20	599	▲13	64	▲3	91	▲4
臨時損益	▲302	▲430	▲178	▲115	▲39	▲42	▲85	▲274
うち不良債権処理額	192	▲503	111	▲251	7	▲43	73	▲209
うち株式関連損益	▲58	▲63	▲37	▲114	▲17	▲1	▲4	▲50
経常利益	419	▲381	305	▲135	10	▲15	105	▲231
特別損益	▲30	▲74	24	▲80	▲6	▲21	▲48	▲26
税引前当期純利益	389	▲455	329	▲215	3	▲36	57	▲205
法人税等(通常)	145	▲56	149	▲44	▲0	▲0	▲4	▲13
法人税等(繰上計上)	▲160	▲257	▲160	▲96	0	▲40	0	▲121
当期純利益	404	▲142	340	▲75	4	▲4	61	▲71
信用コスト	209	▲248	206	▲157	28	▲8	▲25	▲83

損益（FFG連結）

経常収益	2,572	▲240
経常費用	2,242	▲539
うちのれん償却費	92	0
経常利益	331	300
連結純利益	284	65

連結調整

当期純利益(3行単体合算)	404
のれん償却費	▲92
銀行子会社損益	▲10
有価証券等売買損益調整	14
その他	▲32
FFG連結当期純利益	284

国内資金利益 主要内訳

	福岡		熊本F		親和	
	利息額	前年比	利息額	前年比	利息額	前年比
貸出部門	1,152	V ▲68 R ▲85	214	V ▲18 R ▲9	252	V ▲28 R ▲28
有証部門	114	V ▲8 R ▲13	25	V ▲0 R ▲8	65	V 5 R 5
預金部門	111	V 4 R ▲75	24	V ▲1 R ▲9	33	V ▲1 R ▲23

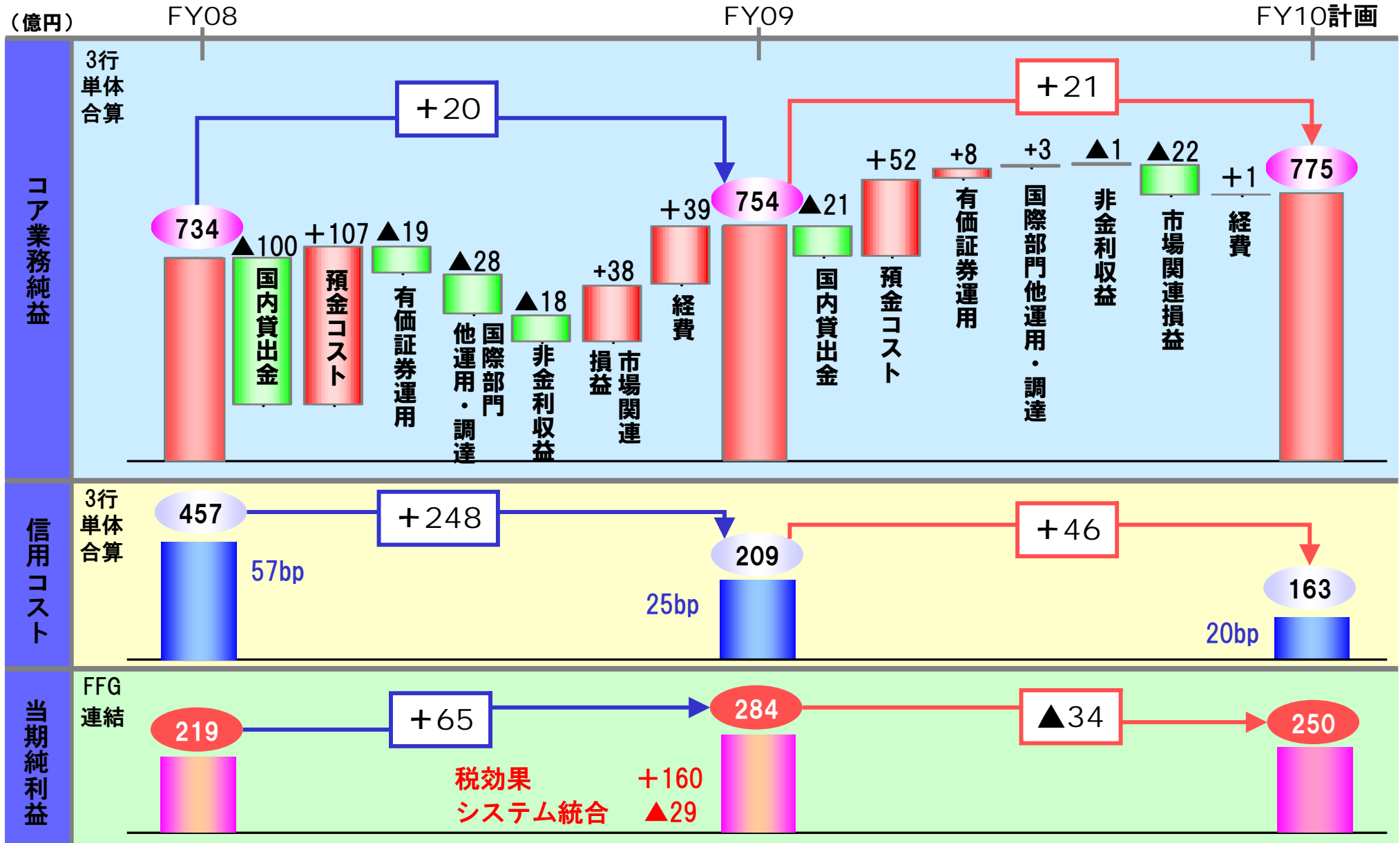
役務等利益 前年比増減

	3行合算			
	福岡	熊本F	親和	
役務等利益	▲15	▲12	▲2	▲1
うち資産運用商品	12	8	1	3
投資信託	13	5	4	4
年金保険	▲0	3	▲3	▲1

マーケット関連損益 内訳

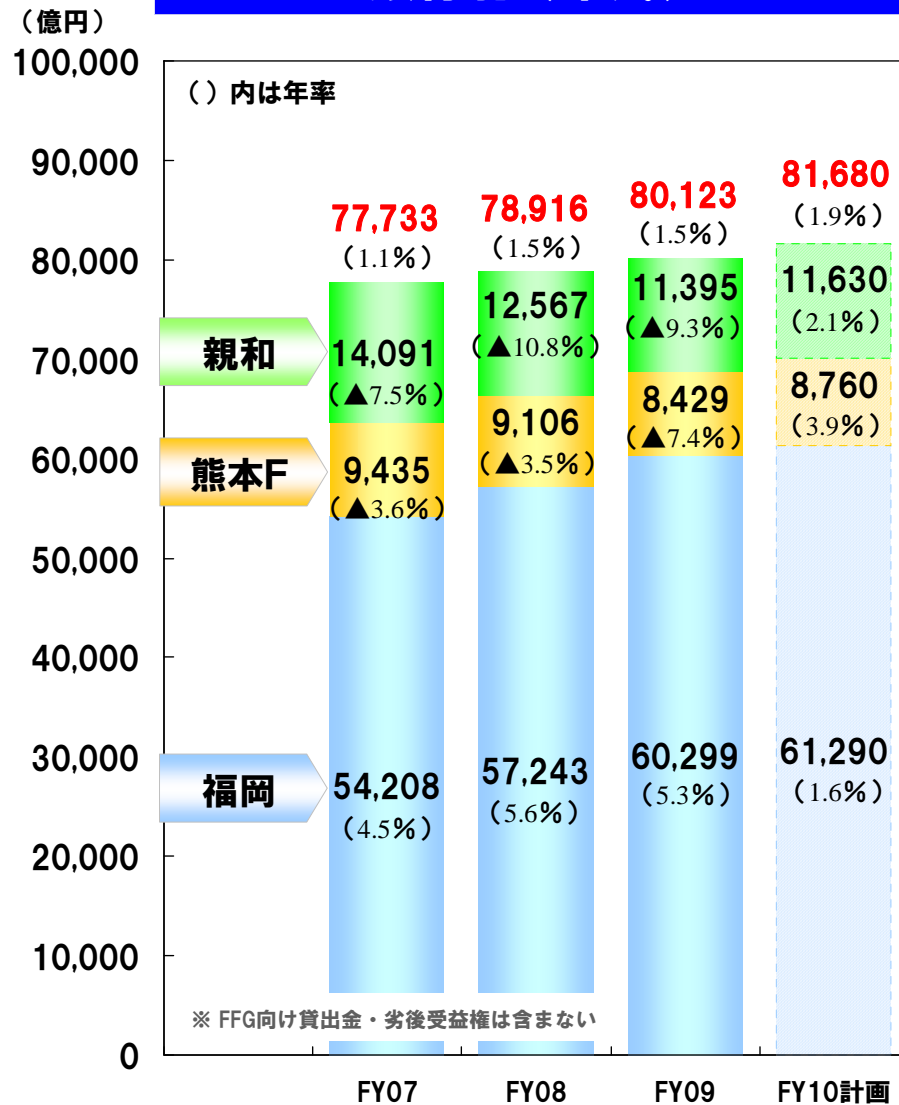
市場要因	3行合算			
	福岡	熊本F	親和	
CDO評価益	11	11	-	-
CDS評価益	6	6	-	-
株式減損	▲27	▲18	▲5	▲5
その他	▲10	▲8	▲0	▲2
小計	▲20	▲9	▲5	▲6
有証売却	▲48	36	8	4
株式売却損益	▲30	▲19	▲12	1
小計	18	17	▲4	5
合計	▲2	8	▲9	▲2

2010年度 業績予想

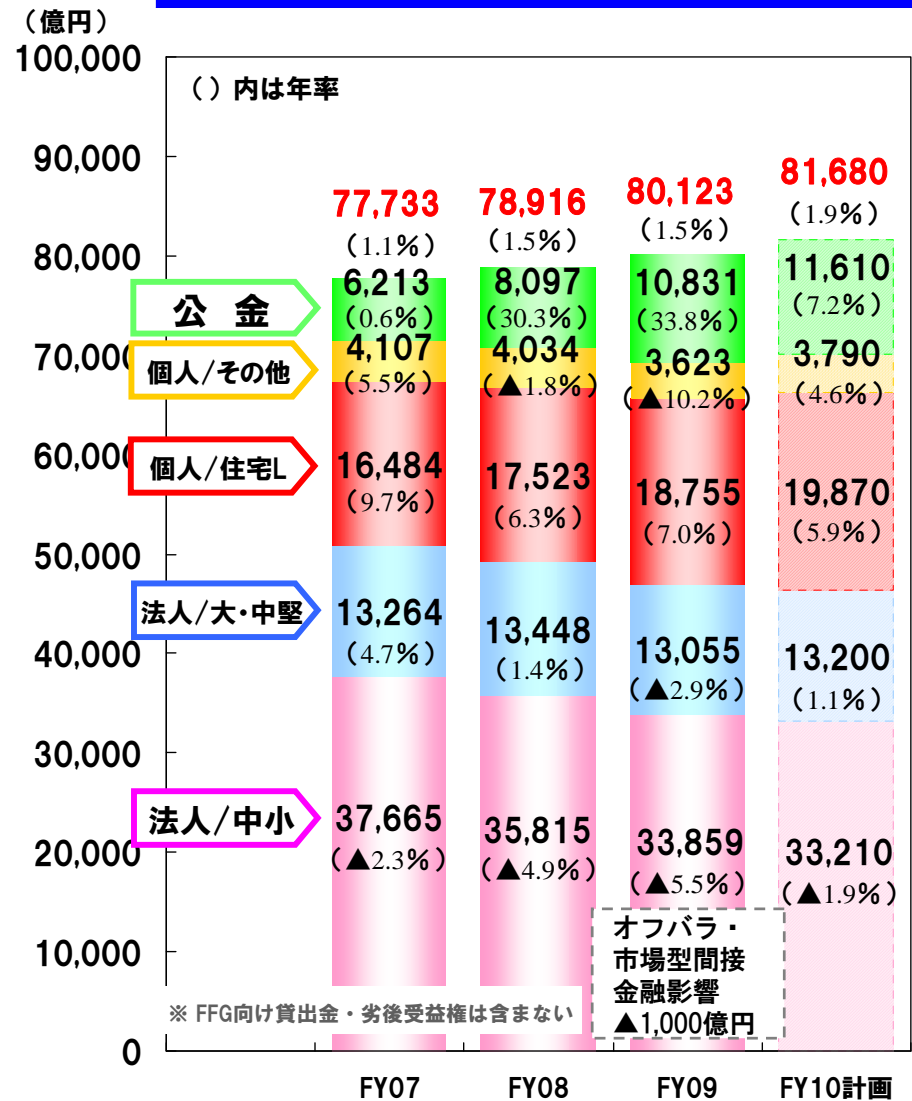


国内貸出金

銀行別（平残）

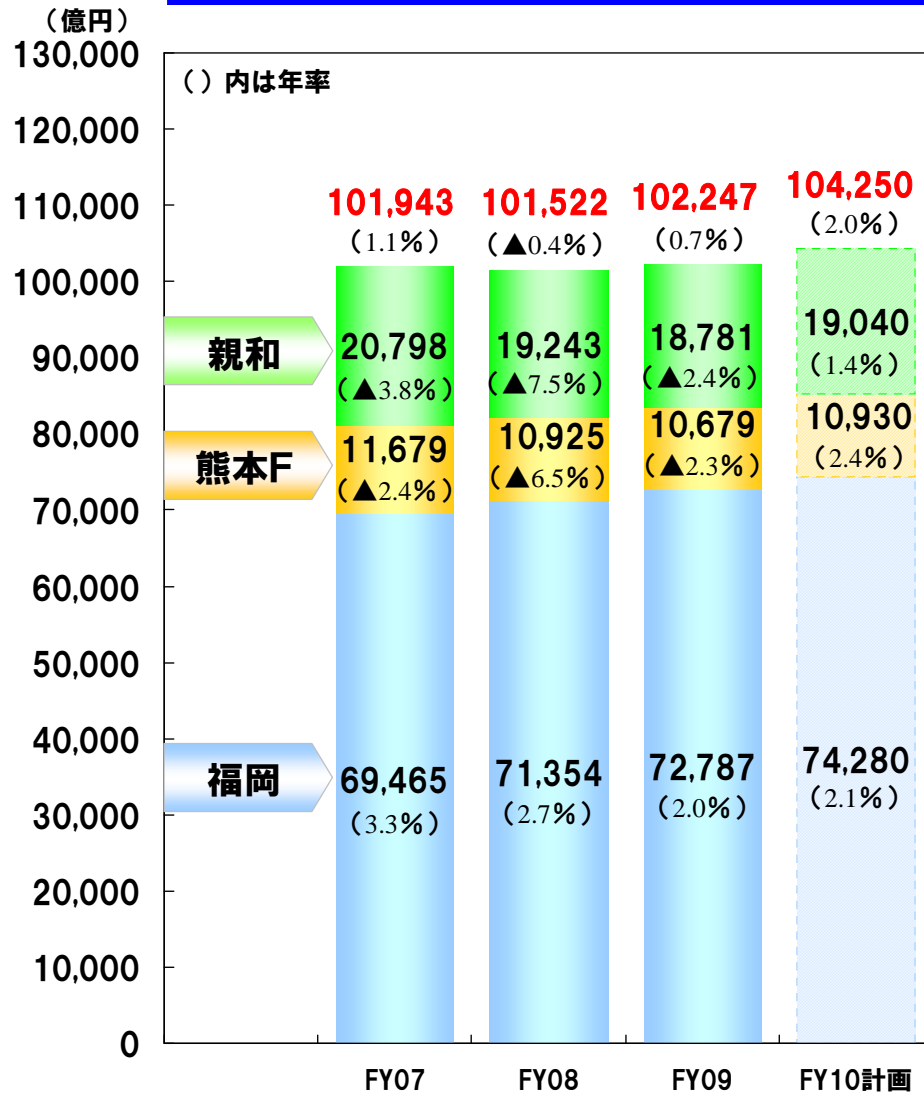


セグメント別（平残）

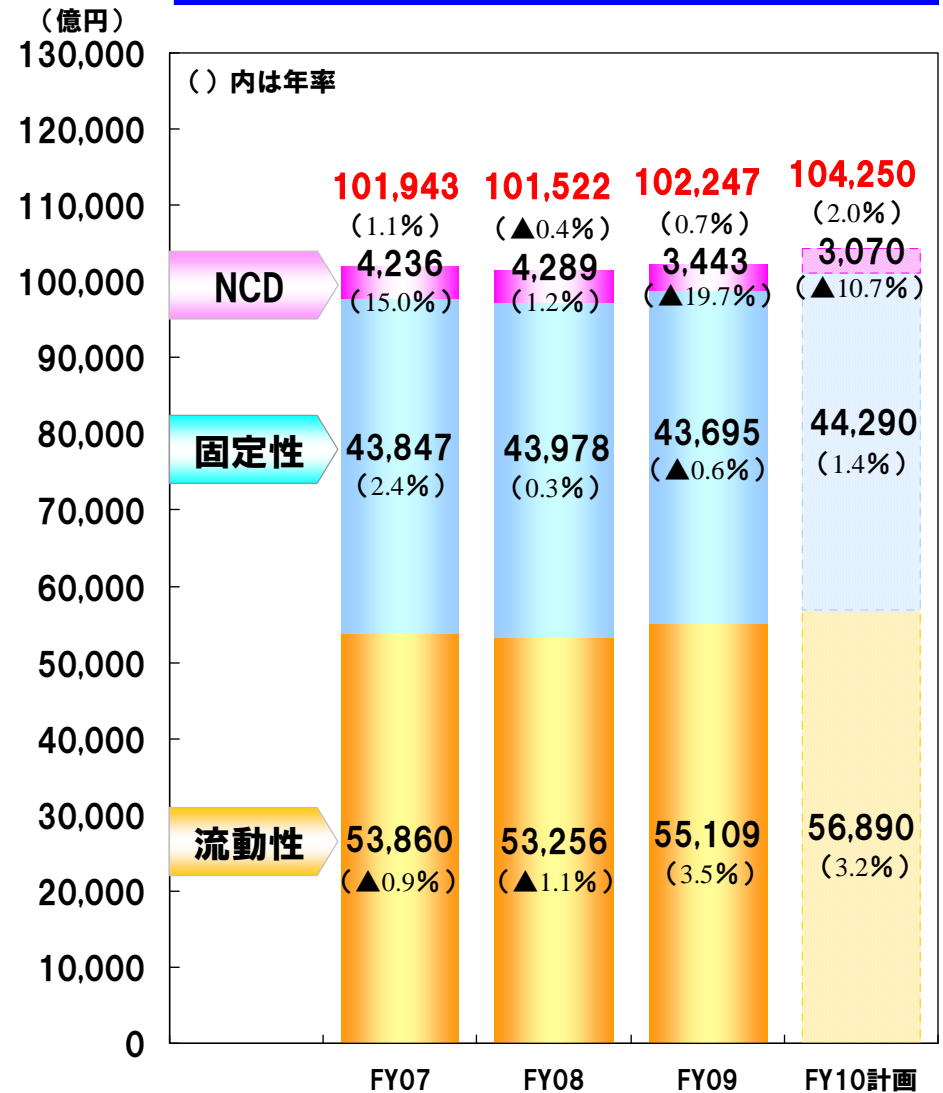


預金・NCD

銀行別（平残）

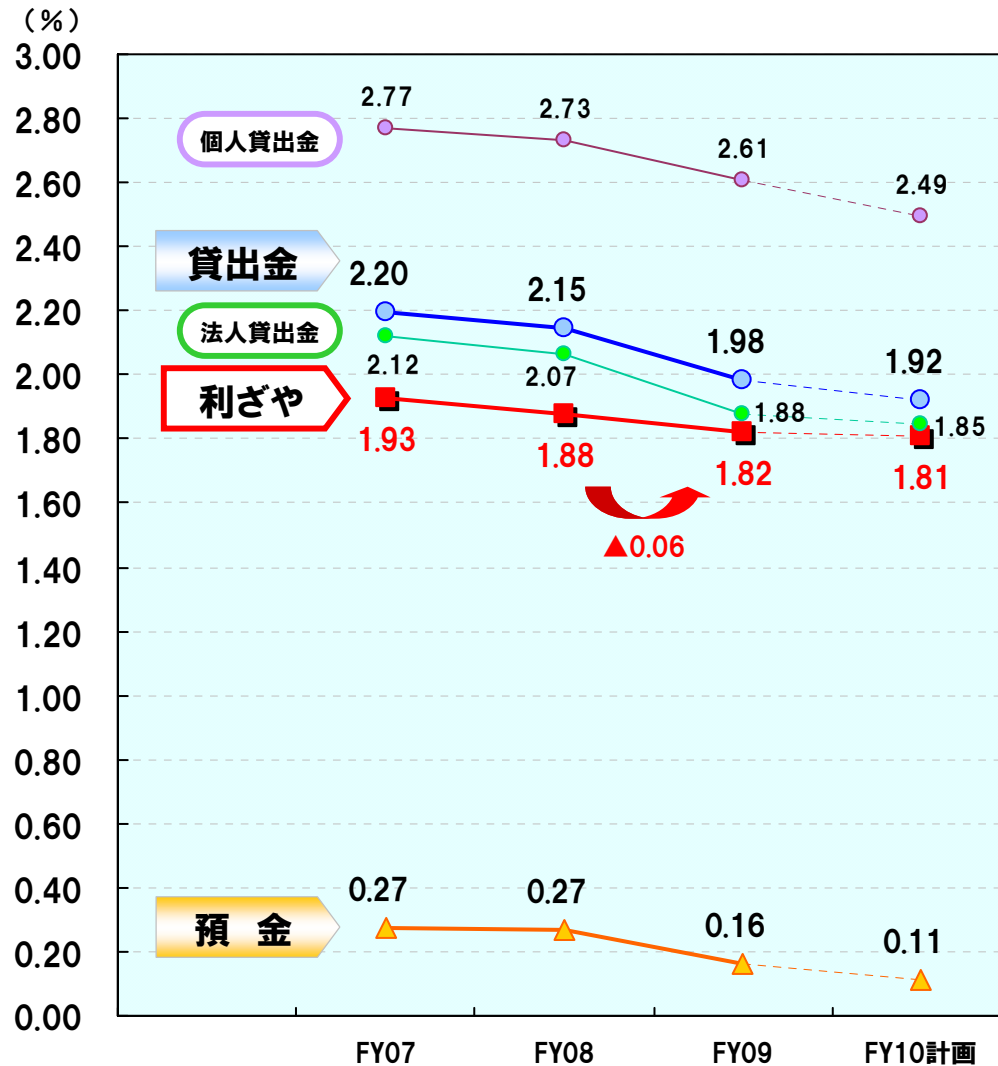


固定・流動性別（平残）



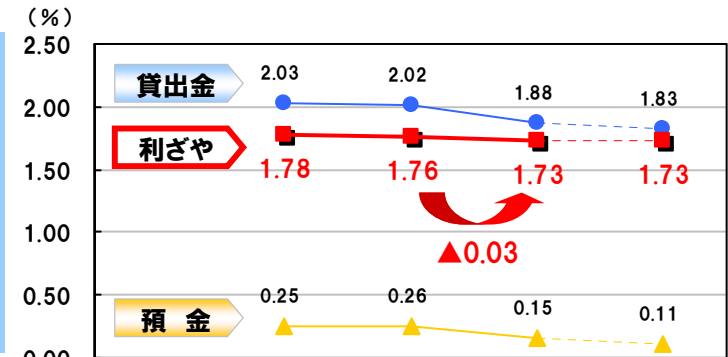
利回り・利鞘

3行合算

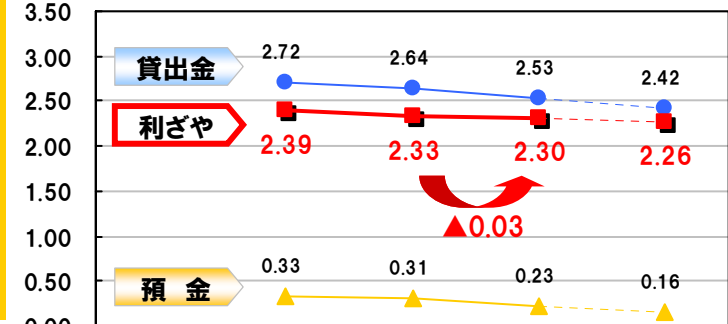


銀行別

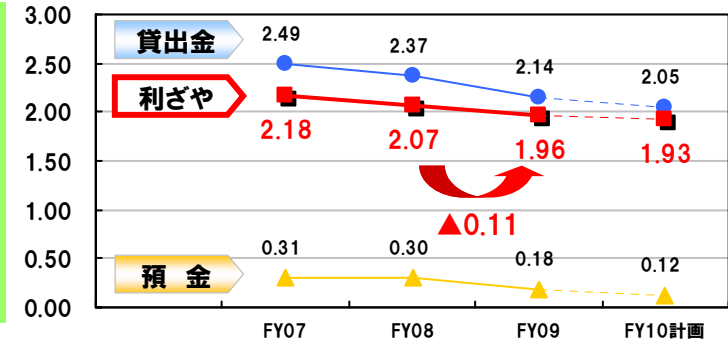
福岡銀行



熊本F銀行



親和銀行

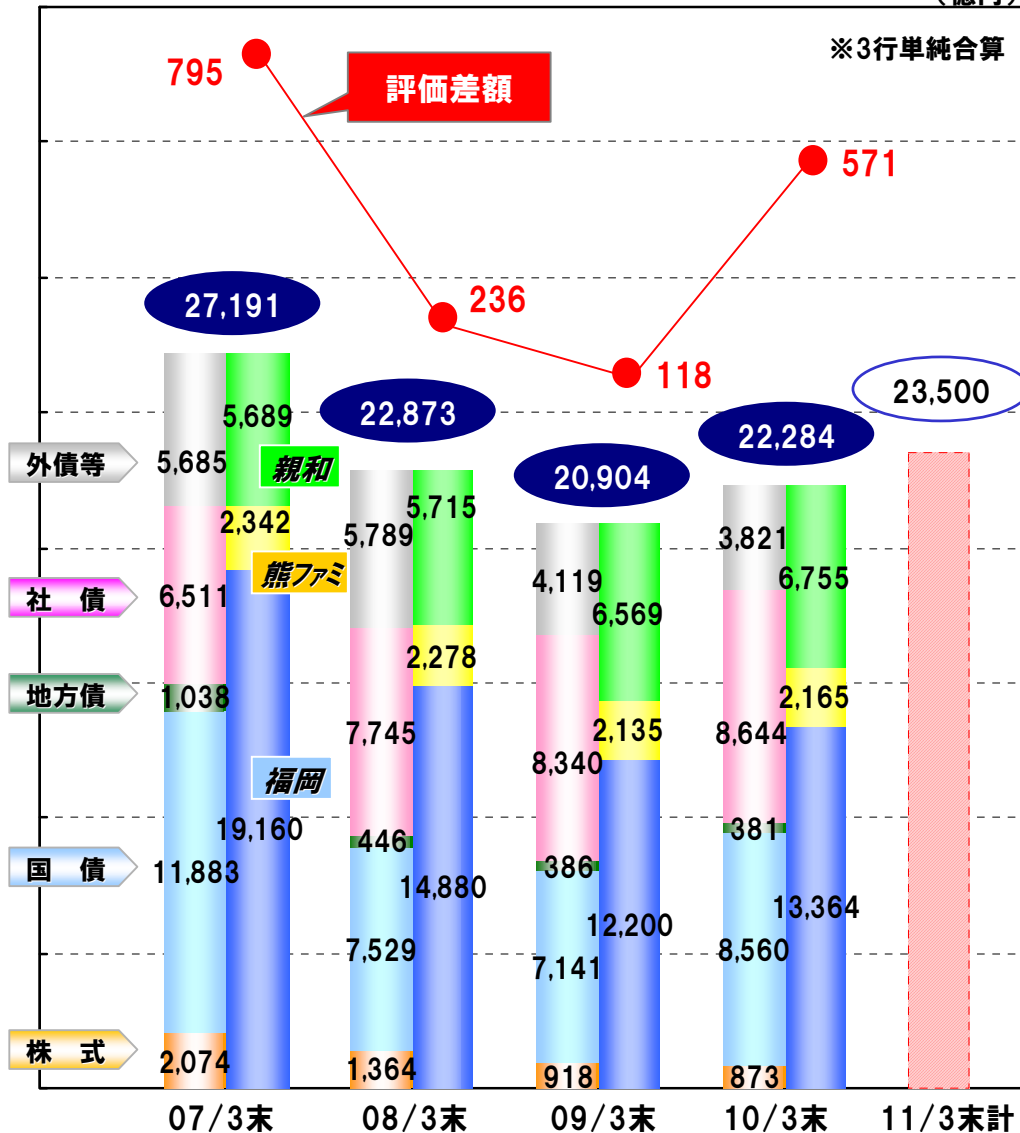


有価証券

有価証券ポート（3行合算）

(億円)

※3行単純合算



証券化商品内訳

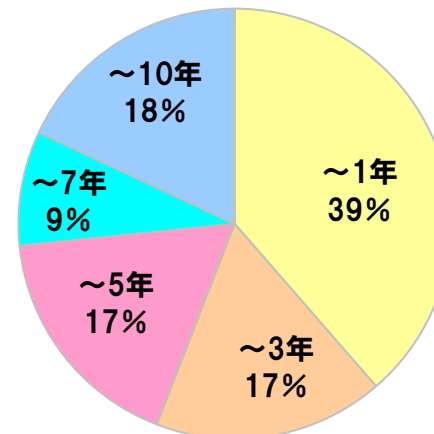
(億円)

	証券化商品合計（時価）					09/3末比			
	有価証券		買入金銭債権		売却・償還要因	時価変動要因		減損等	
	国内債	外債							
ABS	155	26	26	-	129	▲155	▲155	-	-
CMBS	1,026	481	159	322	545	▲223	▲214	▲9	▲1
RMBS	401	329	198	131	72	▲77	▲78	1	-
CLO	57	11	11	-	46	▲97	▲97	-	-
CDO	33	33	-	33	-	▲7	▲17	10	▲0
合計	1,673	880	393	487	793	▲559	▲561	2	▲1

※裏付資産はCDOを除いて全て国内の資産で組成されたもの(外債も含めて)
CMBSの格付分布:AAA格33%・AA格57%・A格以下10%、平均LTV42%

金利更改期別内訳（10/3末）

【円建債券の内訳】



<参考>デュレーション

円建債券	3.09年
外貨建債券	2.74年

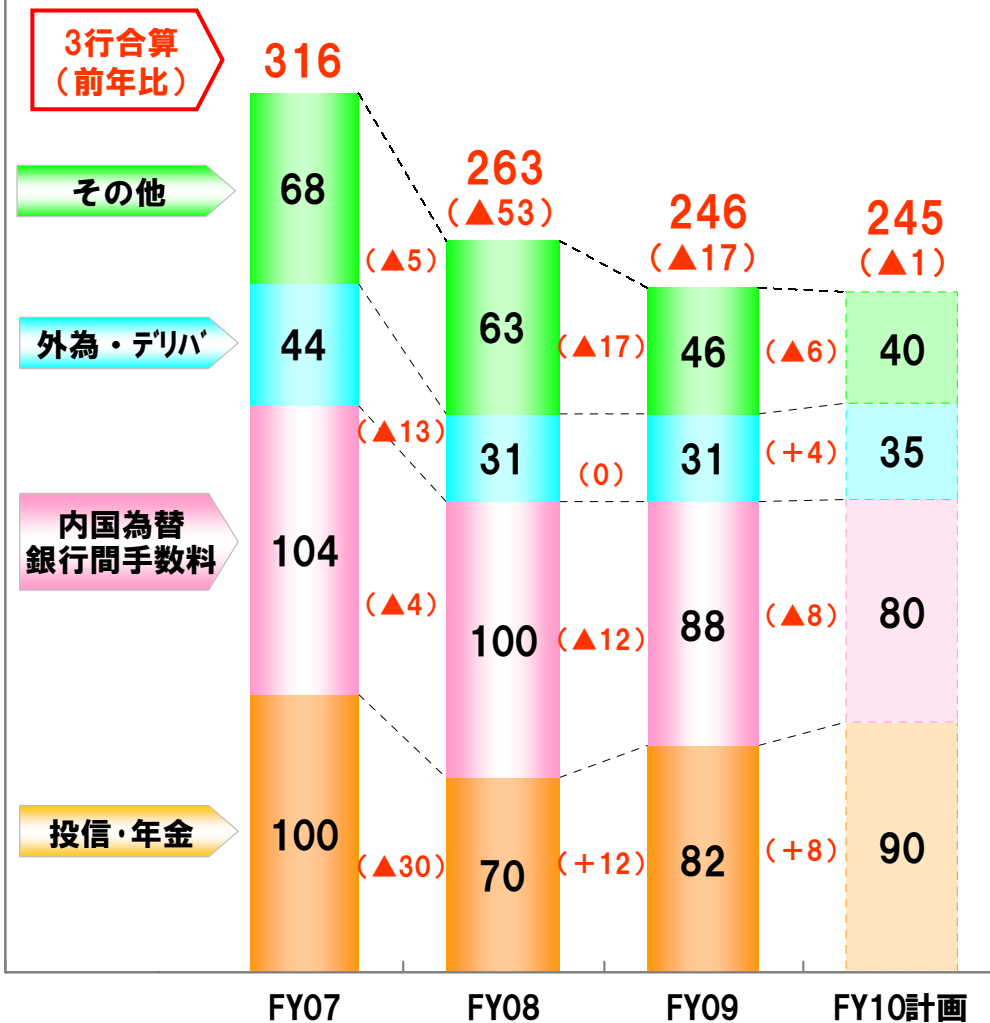
※3行合算

非金利収益

非金利収益額（3行合算）

（億円）

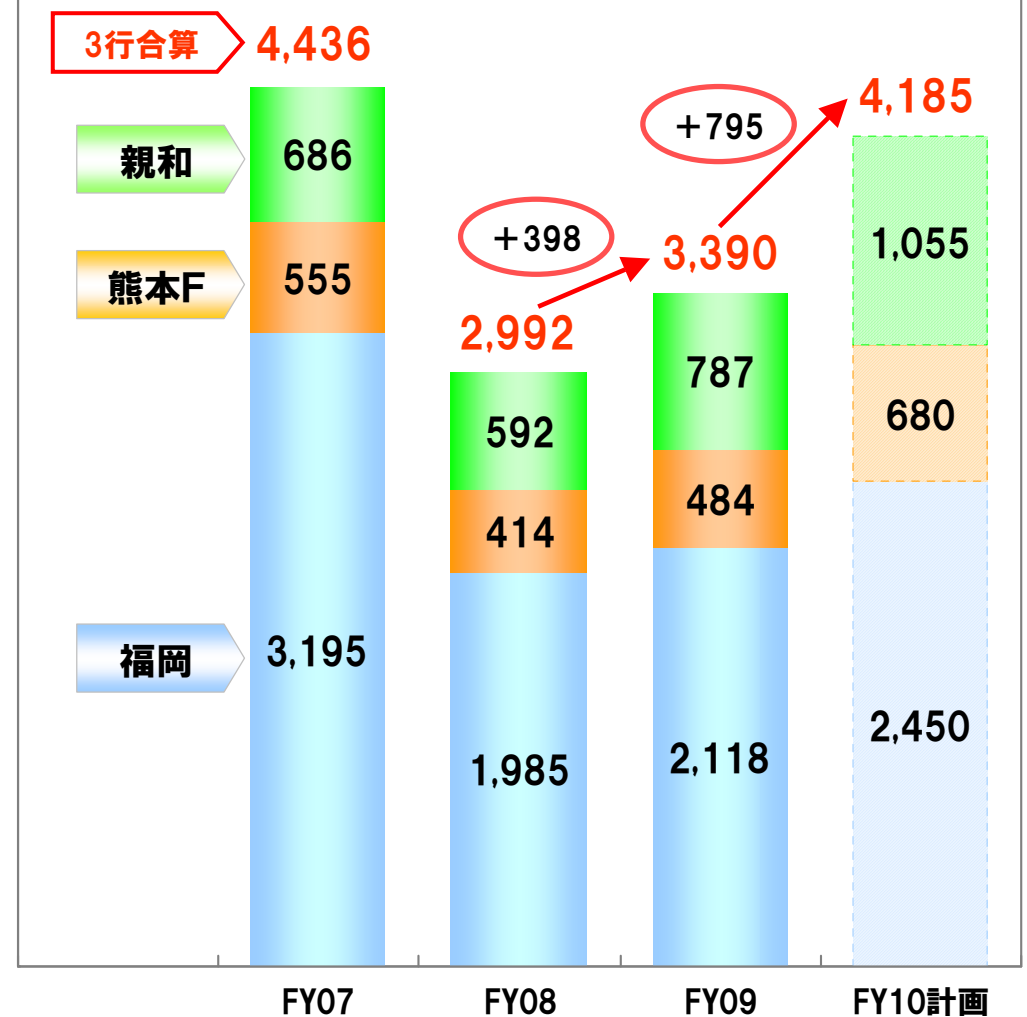
※債券関連損益・市場性商品等関連損益を除く



資産運用商品販売額（銀行別）

（億円）

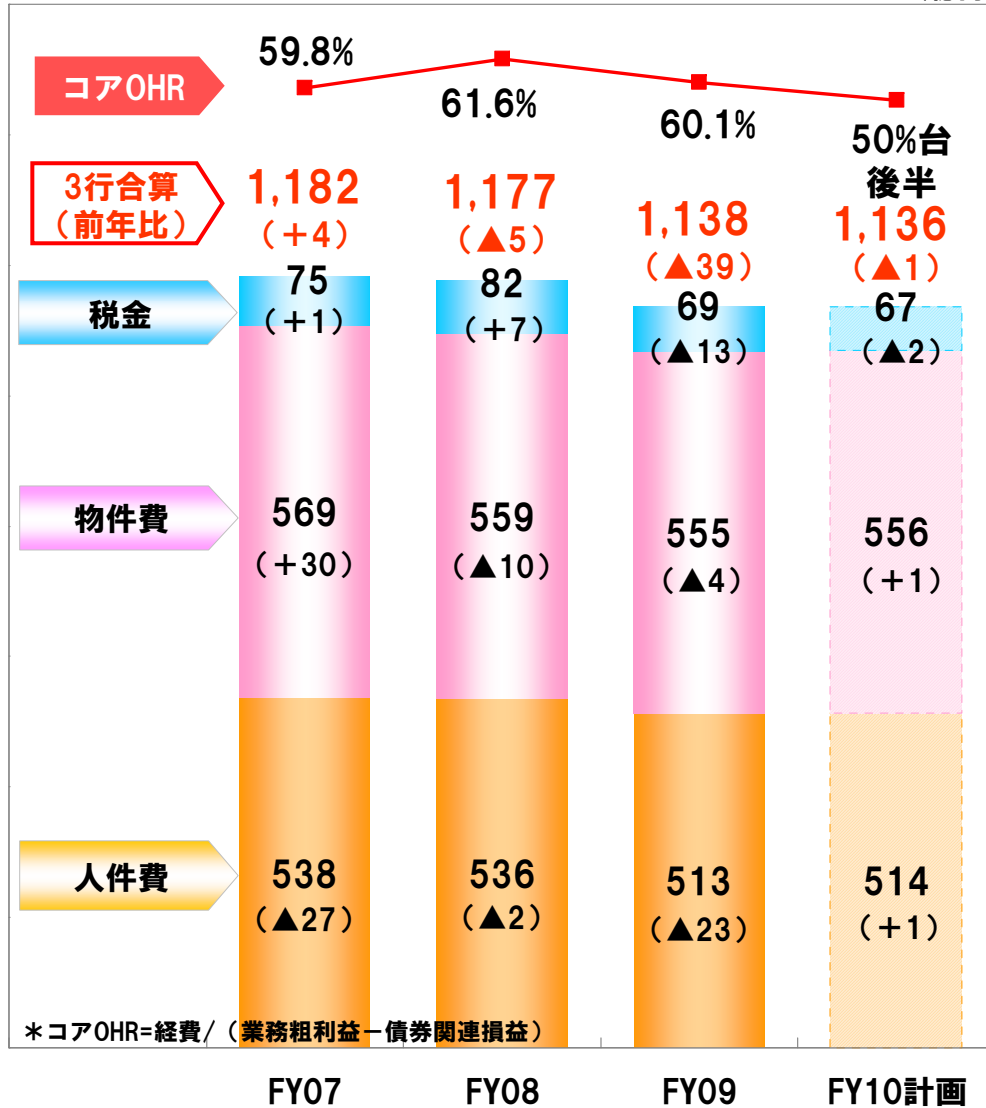
※投資信託+年金保険+外貨定期+公共債



経費

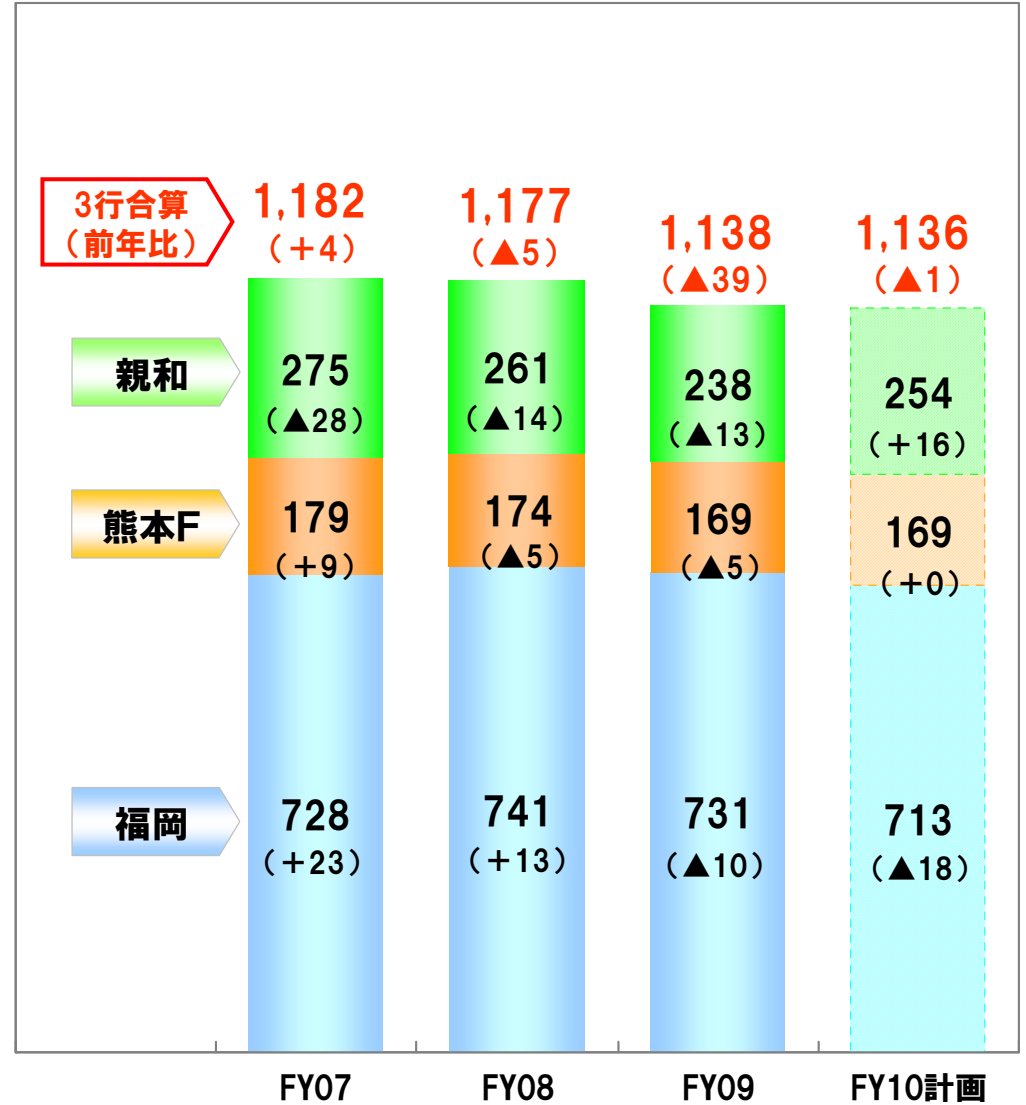
費目別（3行合算）・OHR

(億円)



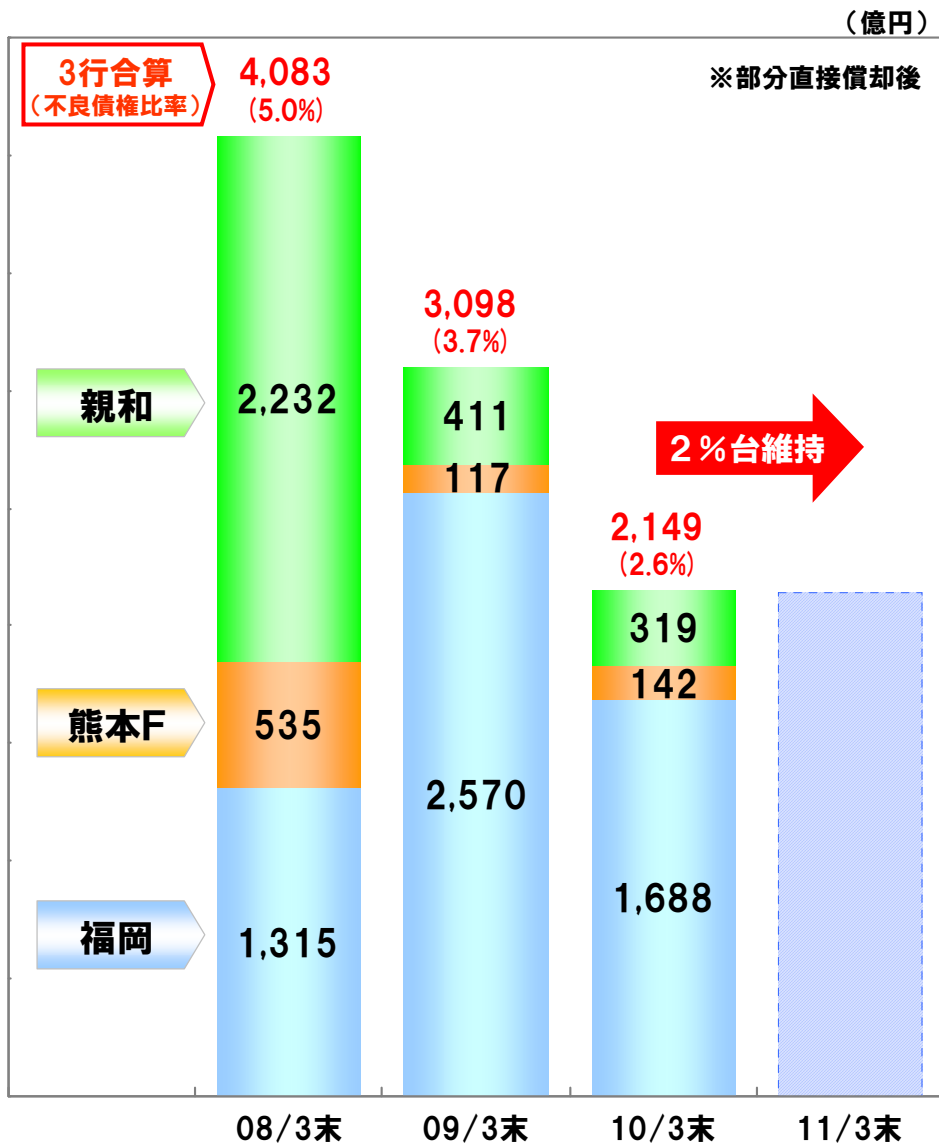
銀行別

(億円)

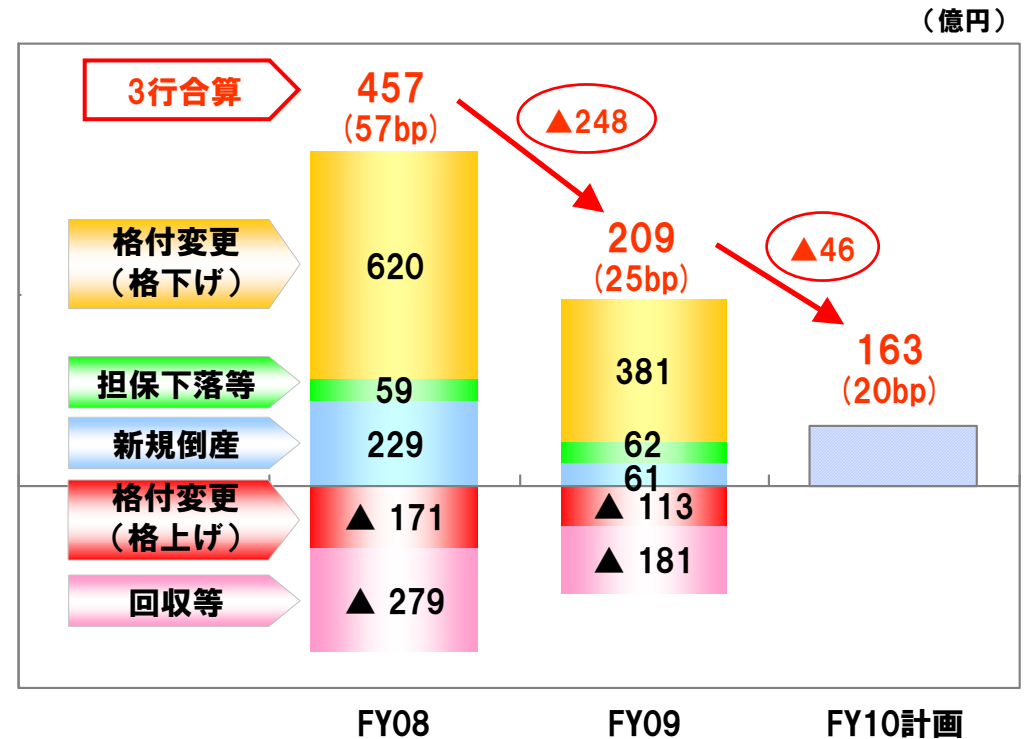


信用コスト・不良債権

不良債権残高・比率（3行合算）



信用コスト（3行合算）



■ 貸倒引当金算定方法の変更

【変更内容】

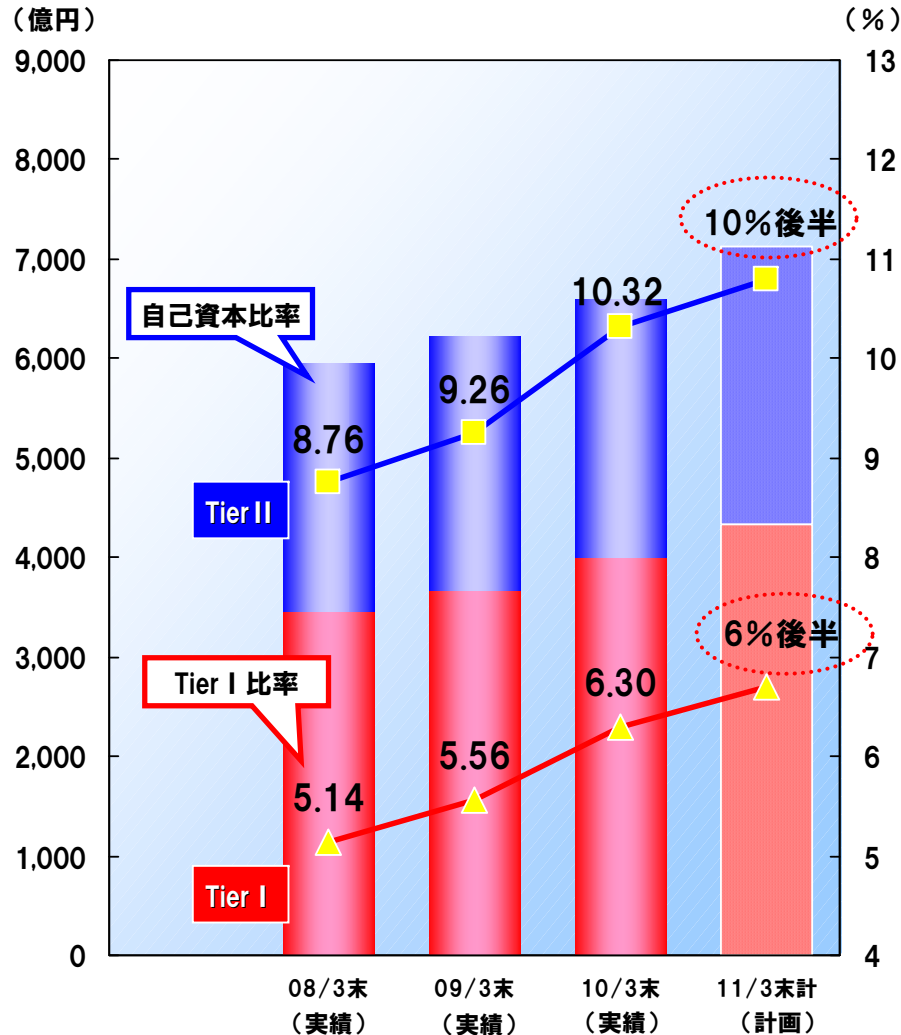
- 引当基準の統一（熊本F、親和：貸倒実績率⇒倒産確率へ）
- DCF引当対象の拡大、要注意先（格付8-先）の引当強化

信用コストへの影響額 (億円)

	福岡	熊本F	親和 (連)	FFG連結
	22	17	▲37	2

自己資本比率

自己資本比率（FFG連結）



※信用リスク算出:標準的手法、オペリスク算出:粗利益配分手法

自己資本の内訳（FFG連結）

項目	08/3末	09/3末	10/3末	前年比
Tier I	3,453	3,667	3,996	+329
うち優先株式	94	94	94	0
うち優先出資証券	750	750	750	0
うち控除項目	▲1,861	▲1,754	▲1,632	+122
のれん相当額	▲1,773	▲1,682	▲1,590	+92
自己株式	▲32	▲25	▲2	+23
(繰延税金資産) ※	(708)	(1,170)	(1,178)	+8
Tier II	2,508	2,552	2,663	+111
一般貸倒引当金	420	412	396	▲16
土地再評価差額金	361	355	353	▲2
劣後債務 (算入額)	1,727	1,785	1,914	+129
控除項目	▲79	▲112	▲117	▲5
自己資本額	5,881	6,107	6,542	+435
リスクアセット	67,135	65,903	63,343	▲2,560

※自己資本に含まれる繰延税金資産＝繰延税金資産純額＋その他有価証券評価差額に係る繰延税金負債－繰延ヘッジ損益

Part II

FFGの経営戦略

第二次中計の総括と第三次中計の展望

第二次中計 (FY2007~FY2009)

バランスシートの改善と経営インフラの構築

経営体制の確立
グループ一体

3ブランド・シングルプラットフォーム

- 本部業務・関連会社の集約
- 店舗統廃合
- 事務・システム統合 (09/1月 熊ファミ、10/1月 親和)
- 格付基準・リスク管理手法の統一
- 営業スタイルの変革

早期実現と最大化
統合シナジー効果の

		2007/9末	2010/3末	増減
貸出金	(億円)	79,822	81,424	+1,602
預金・NCD	(億円)	98,880	105,329	+6,449
不良債権残高	(億円)	4,380	2,149	▲2,231
有価証券	上場株式 (億円)	1,138	661	▲477
	CDO 仕組ローン (億円)	1,053	352	▲701
人員数	(人)	7,920	7,050	▲870
店舗数	(店)	379	329	▲50

※3行単体合算ベース、不良債権残高は部直後

FFGカルチャーの創造

- FFG経営理念・ブランドの展開
- グループ間人財交流 (延べ約300名)
- 3行姉妹店制度
- プロジェクトS (サービス品質の向上)

第三次中計 (FY2010~FY2012)

経営インフラの徹底活用により営業面での積極展開を図るとともに生産性の劇的な向上を図る

4つの基本方針

お客様とのリレーション強化

- 中小企業取引推進
- 個人取引推進
- 商品・サービス拡充

生産性の劇的な向上

- 事務改革
- ITパフォーマンス向上
- 人員体制再構築

	2013/3末計画	2010/3末比
	91,000	+9,576
	112,000	+6,671
	2,210	横ばい程度
	615-α	残高圧縮方向
	220	▲132
	6,250	▲800
	329±α	新規出店検討

業容拡大
+
生産性向上
↓
P/L拡大

FFGカルチャーの浸透

- 人財交流・人財育成
- 「あなたのいちばんに。」運動 (顧客志向の追求)

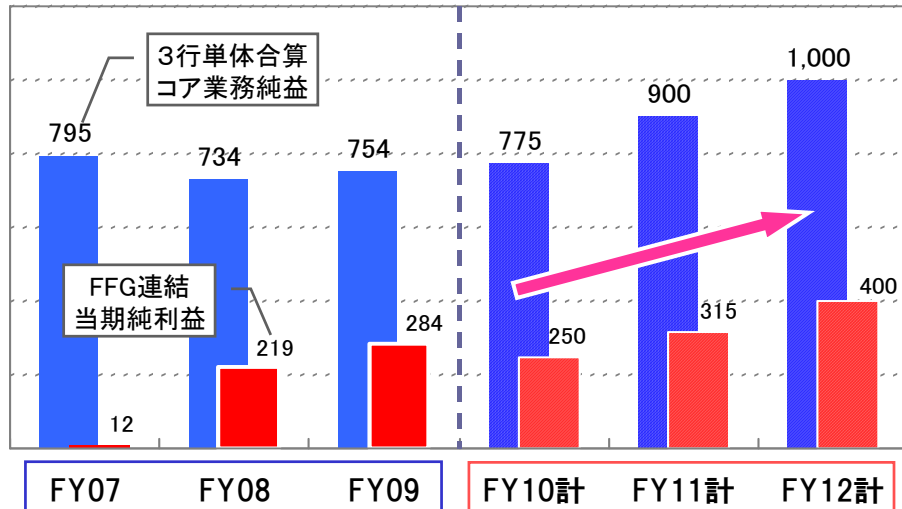
安定収益資産の積上げ

- 優良資産増強
- リスク管理強化

第二次中計の成果と主要計数の推移 (3行合算)

収益性

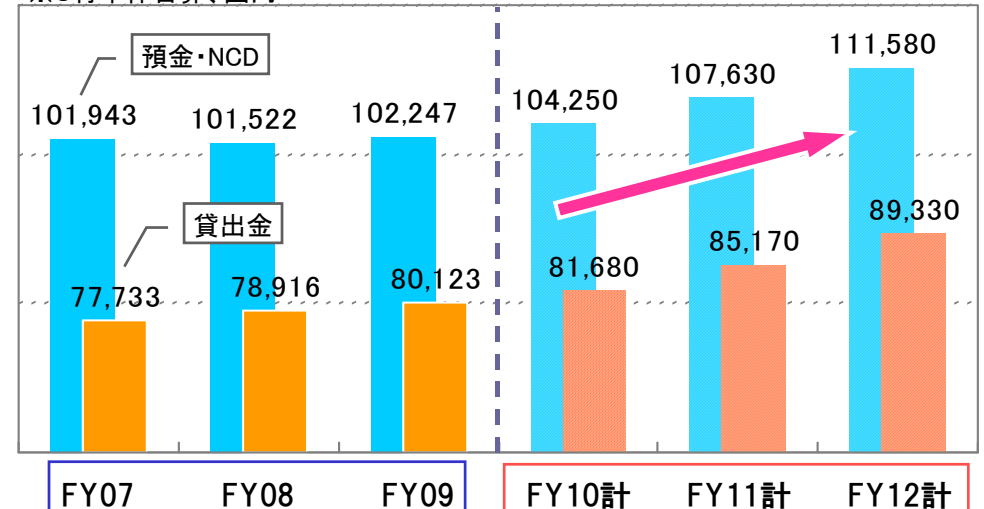
(億円)



規模

(億円)

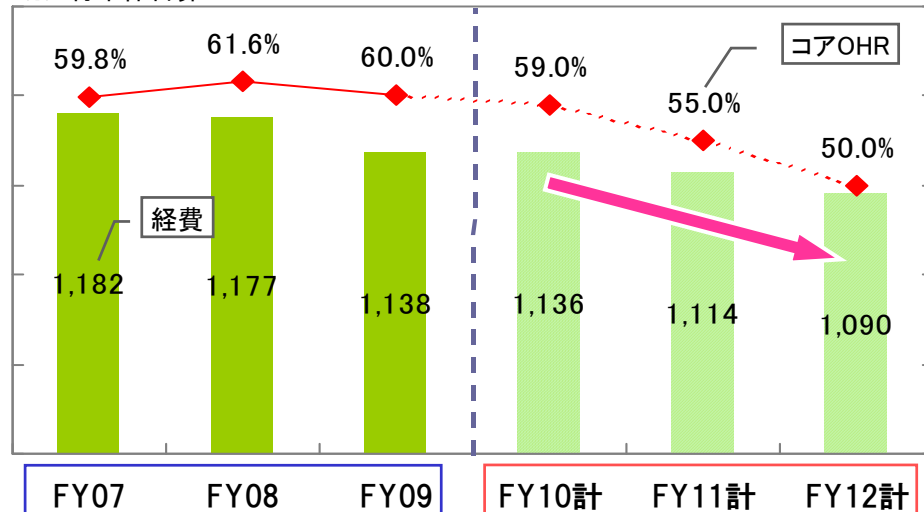
※3行単体合算、国内



効率性

(億円、%)

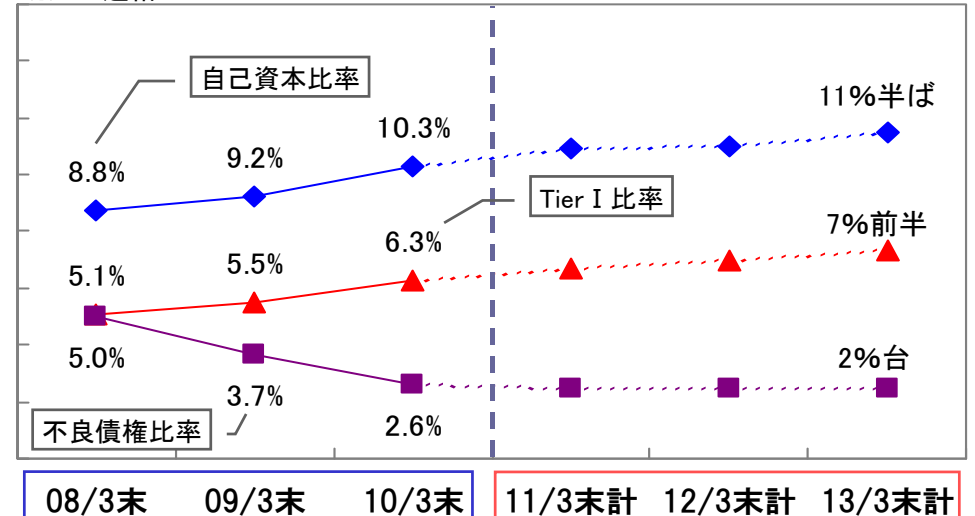
※3行単体合算



健全性

(%)

※FFG連結



中小企業取引

- 法人顧客の中でも中核となる中小企業との取引推進に注力
- グループ総合力で事業活動全般をサポートする広範囲のメニューを展開し、強固な取引関係を構築

『事業活動そのものをサポート』
=商品別営業から顧客別営業スタイルへ

お取引先

資金調達	海外取引・海外進出
資産運用	販路拡大
事務効率化	事業承継
従業員教育	事業再構築

ニーズ・経営課題

- シンジケーション
- 商談会・セミナー
- ビジスマッチング
- M&A
- 経営改善支援
- 財務アドバイザー

提案型営業の実践

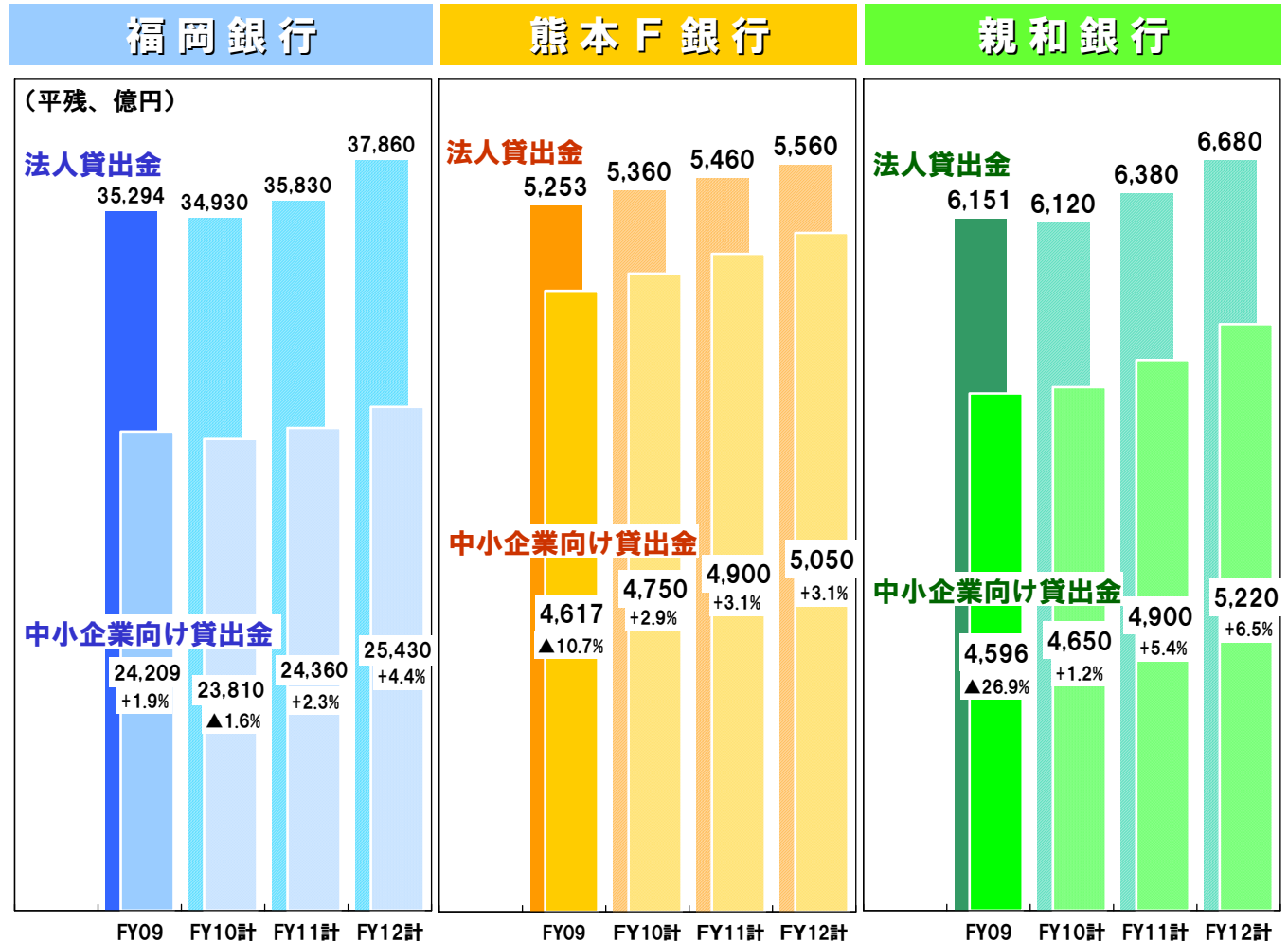
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

営業店

サポート・連携

本部
フロント部隊

FFGビジネス
コンサルティング



- ✓ 熊ファミ・親和の中小企業向け貸出はFY09で下げ止まりを確認
- ✓ 福岡の不良債権最終処理もFY09でほぼ完了し、FY10下期以降は反転増加を計画

個人取引

- 熊本ファミリー銀行・親和銀行への営業スキル移植を終え、グループ全体で積極営業を展開
- お客様のライフサイクルに応じた適切な商品・サービスを提案し、一生涯にわたるお取引を提供

第二次中計期間 ～営業スタイルの変革～

- 営業スキルの向上
 - 熊本ファミリー、親和への資産運用商品販売スキルの移植
- 相場に左右されない販売体制の確立
 - 販売後のアフターフォローの徹底
- 店舗投資の展開
 - ユニバーサルデザインで改修・建替え

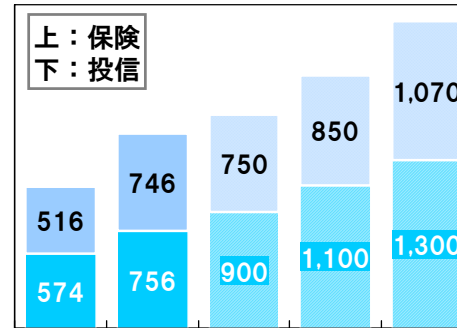
新たなステージにチャレンジ

『人生設計そのものをサポート』
=商品別営業から顧客別営業スタイルへ

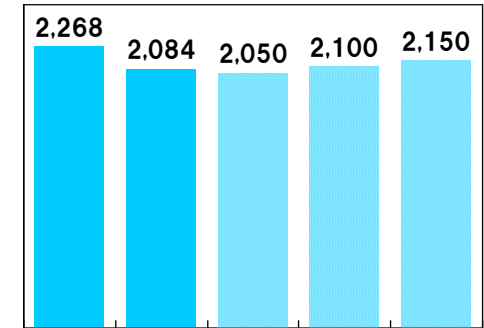
- ライフプランに応じた相談営業の展開
- 顧客管理基準の見直し（顧客接点の質・量を向上）
- 積極的な店舗投資の継続（熊ファミ・親和への展開）

福岡銀行

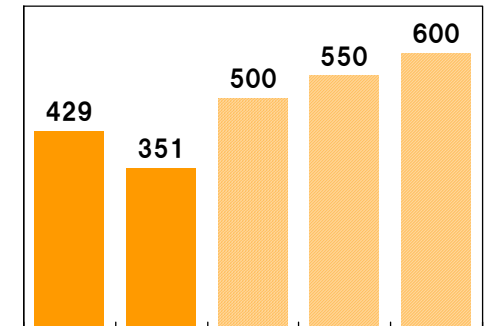
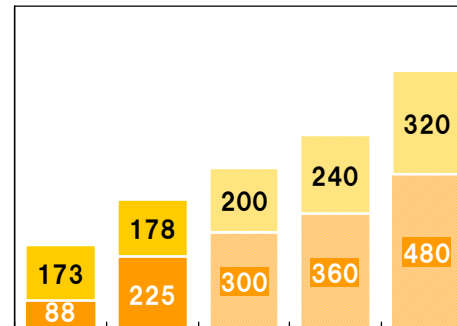
資産運用商品販売（億円）



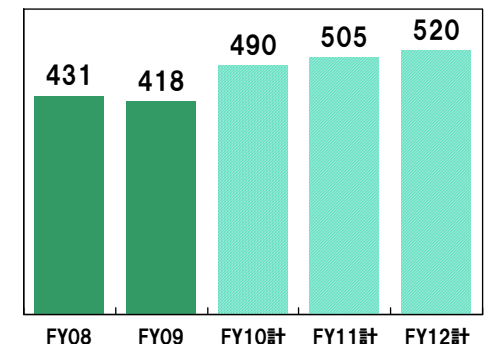
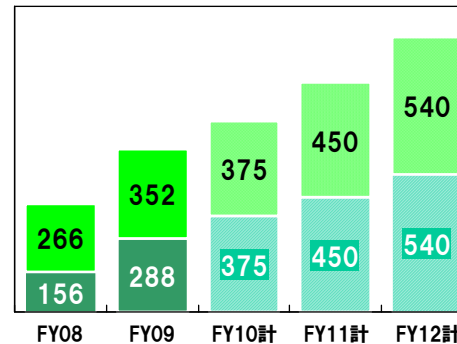
住宅ローン実行額（億円）



熊本F銀行

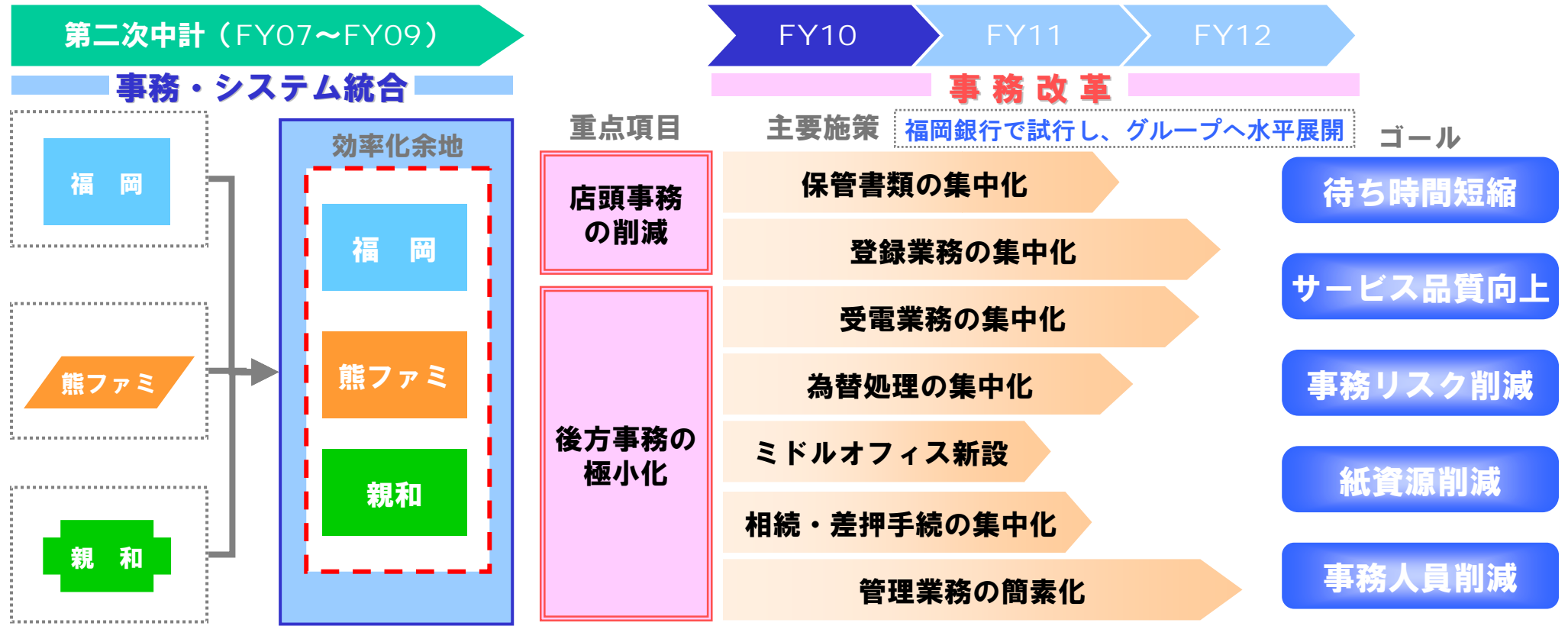


親和銀行



生産性の劇的な向上

- 事務インフラ・ITインフラを徹底活用した事務改革をスタート
- 事務プロセスを大幅に見直し、営業店を営業主体のコンサルティング・スペースへ変革



人員推移 (計画)	10/3末		11/3末		12/3末		13/3末		10/3末比
	FFG合計 (人)								
うち 営業店	7,050	5,220	6,800	5,110	6,500	4,900	6,250	▲800	
うち 本部	1,020	1,020	1,000	1,000	975	975	920	▲100	

事務人員は3割削減、フロント人員は100名強化

Part III

計数資料

2010年度業績予想

損益(3行単体合算)

(億円)

	3行単体合算		福岡銀行(単体)		熊本F銀行(単体)		親和銀行(単体)	
	FY10	前年比	FY10	前年比	FY10	前年比	FY10	前年比
業務粗利益	1,923	▲ 8	1,340	▲ 17	239	▲ 2	344	+11
資金利益	1,671	+42	1,159	+26	216	+3	295	+13
非金利収益	252	▲ 50	180	▲ 43	23	▲ 4	49	▲ 2
うち役員等利益	209	▲ 3	147	▲ 3	19	+2	43	▲ 3
経費	1,136	▲ 1	713	▲ 18	169	+0	254	+16
業務純益	786	+65	627	+144	70	+21	90	▲ 100
コア業務純益	775	+21	615	+16	70	+6	90	▲ 1
臨時損益	▲ 255	+47	▲ 191	▲ 14	▲ 28	+11	▲ 35	+50
経常利益	532	+112	435	+131	42	+32	55	▲ 50
当期純利益 ①	370	▲ 35	275	▲ 64	40	+36	55	▲ 6

信用コスト	163	▲ 46	120	▲ 86	18	▲ 11	25	+50
-------	-----	------	-----	------	----	------	----	-----

損益(FFG連結)

経常収益	2,440	▲ 132
経常費用	1,990	▲ 252
うちのれん償却費	92	0
経常利益	450	+120
連結純利益 ②	250	▲ 34

【連結調整】

① 当期純利益(3行単体合算)	370
□ のれん償却費	▲ 92
□ FFG単体・関連会社損益	▲ 28
② FFG連結当期純利益	250

コア業務純益 主要項目の前年比内訳

□ 資金利益

	前年比	V要因	R要因
国内貸出金	▲ 21	+ 29	▲ 50
預金コスト	+ 52	▲ 3	+ 55
有価証券	+ 8	+ 13	▲ 5
他運用・調達	+ 5	—	—
国際部門	▲ 2	—	—
資金利益	+ 42	—	—

※ 預金コストは符号“+”がコスト減少

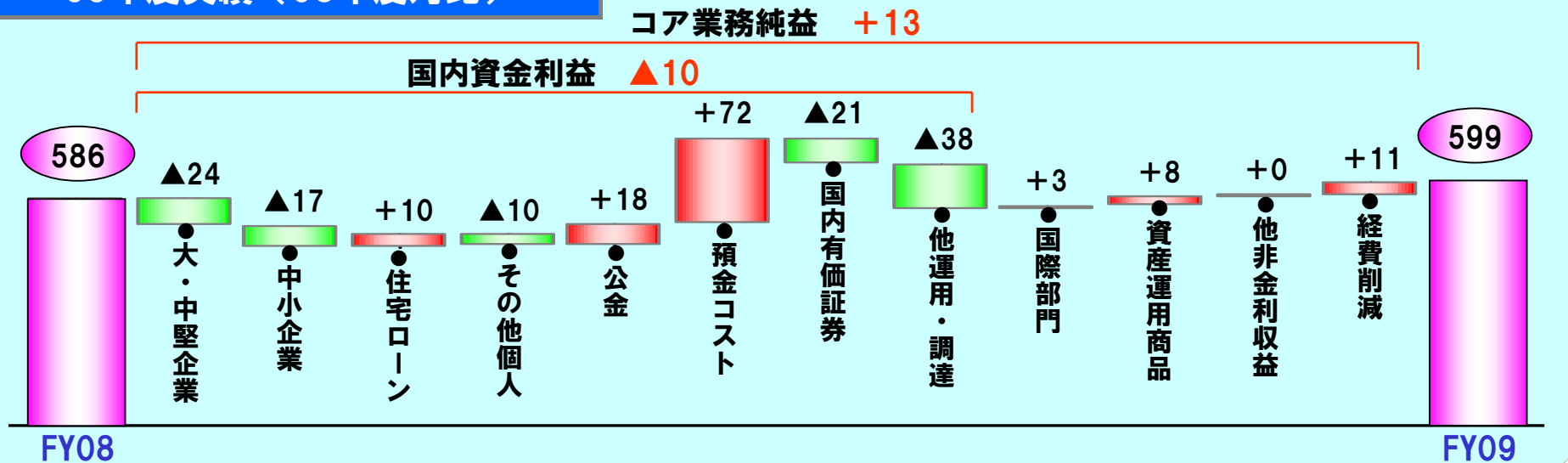
□ 非金利収益

	前年比
投信・年金手数料	+ 8
内国為替・銀行間	▲ 8
債券及び他市場関連損益	▲ 49
その他	+ 0
非金利収益	▲ 50

福岡銀行のトップライン

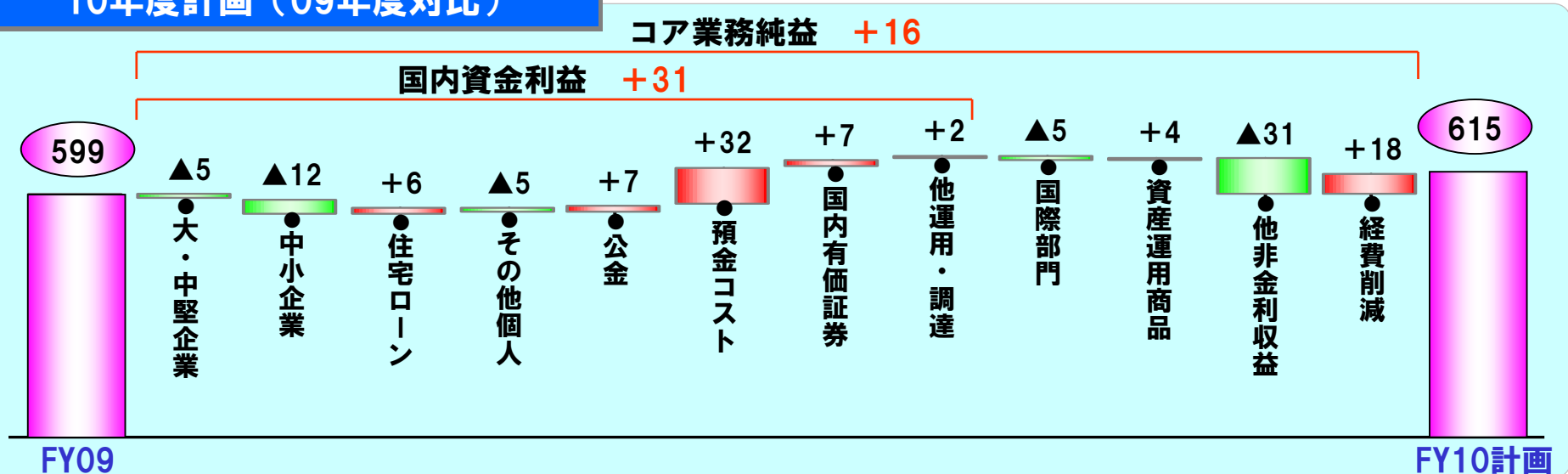
09年度実績（08年度対比）

(億円)



10年度計画（09年度対比）

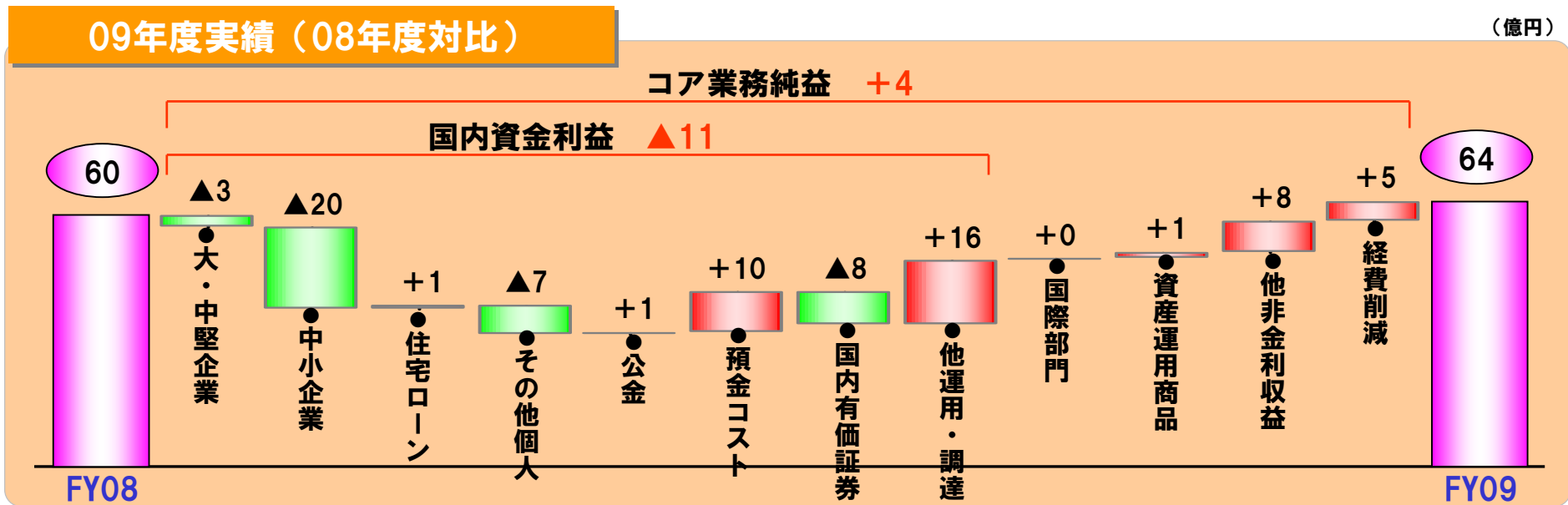
(億円)



熊本ファミリー銀行のトップライン

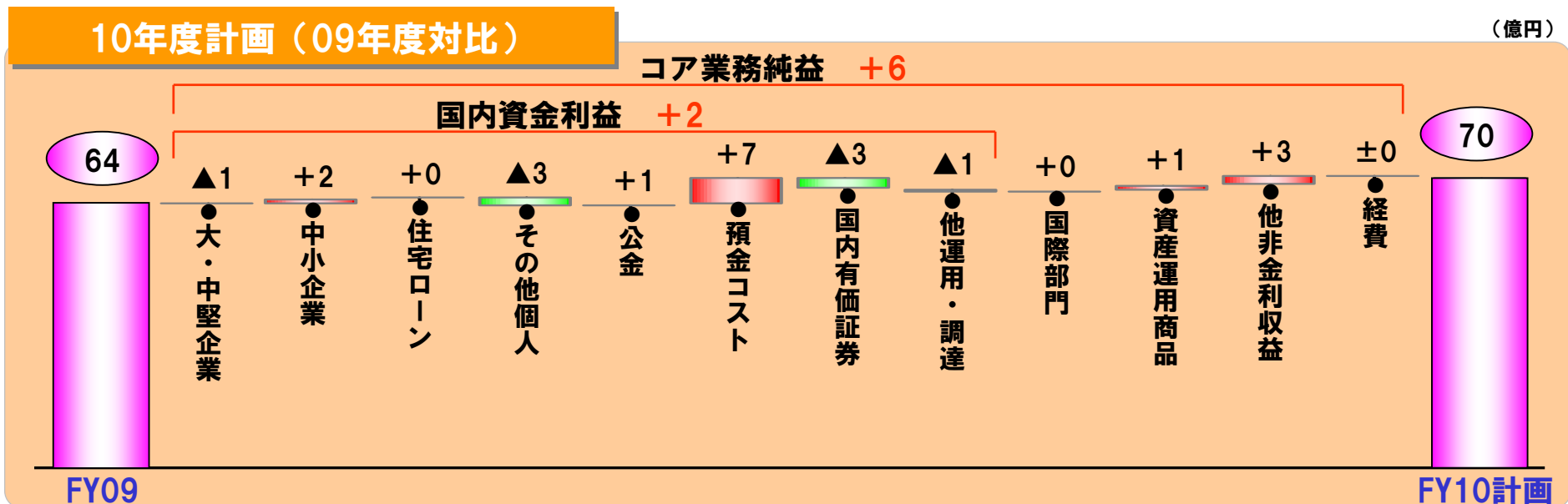
09年度実績（08年度対比）

(億円)



10年度計画（09年度対比）

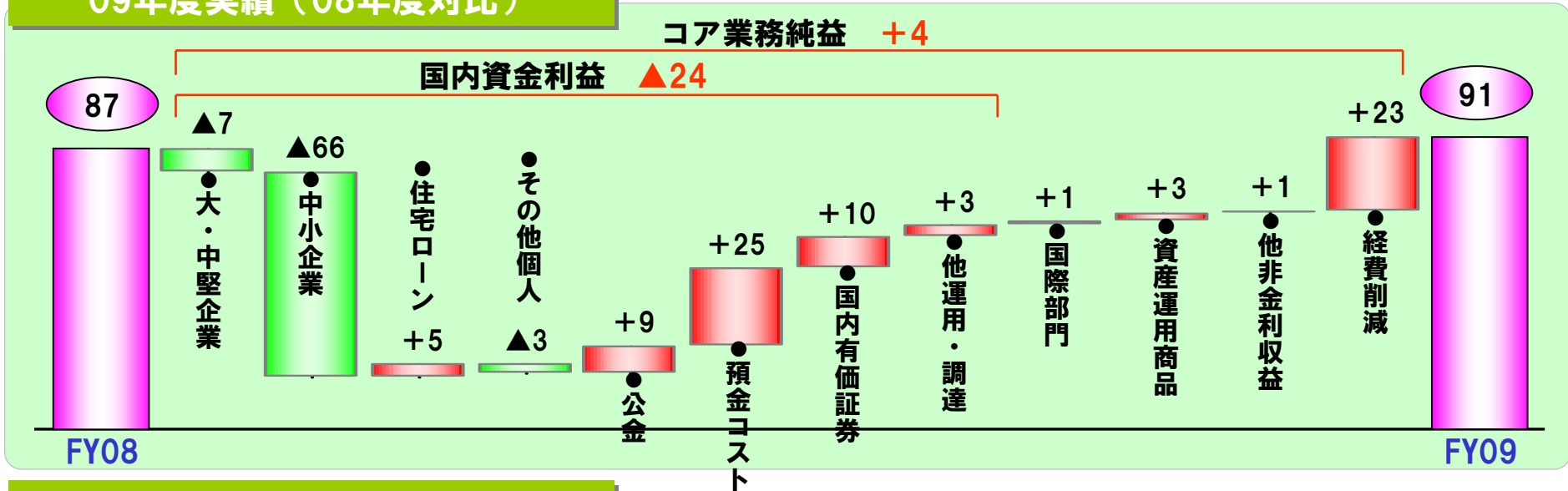
(億円)



親和銀行のトップライン

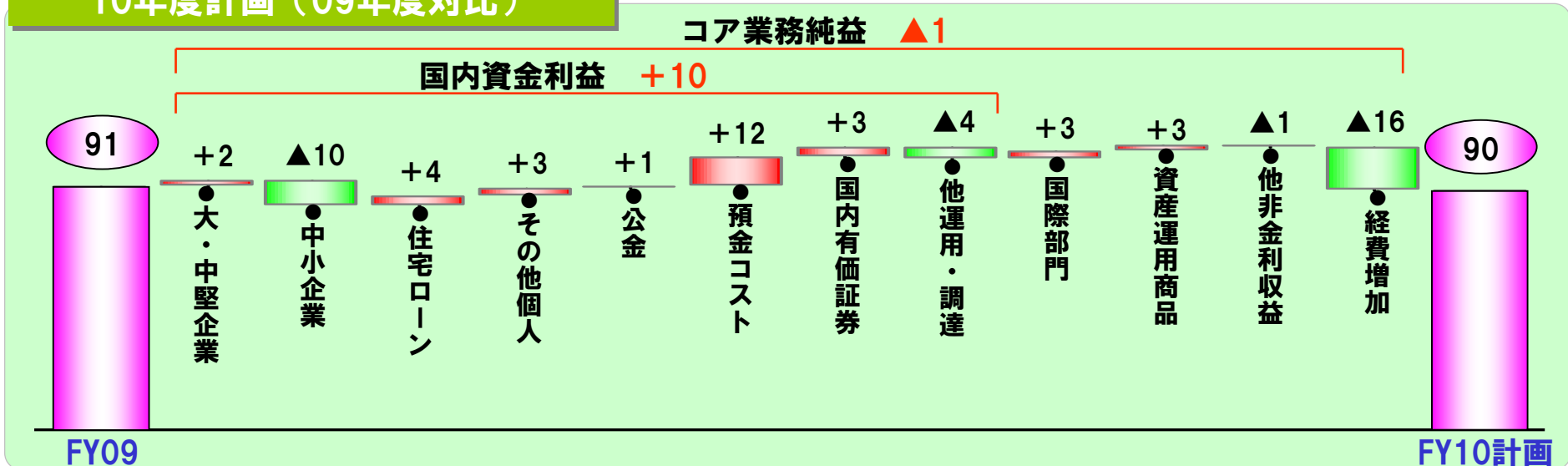
09年度実績（08年度対比）

(億円)



10年度計画（09年度対比）

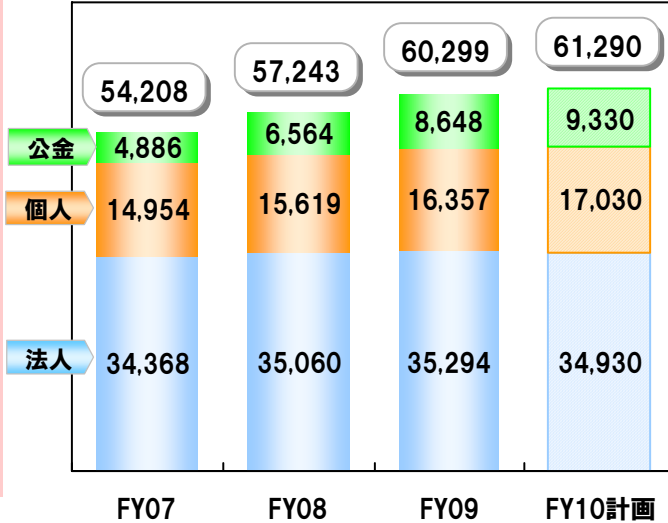
(億円)



国内貸出金計画

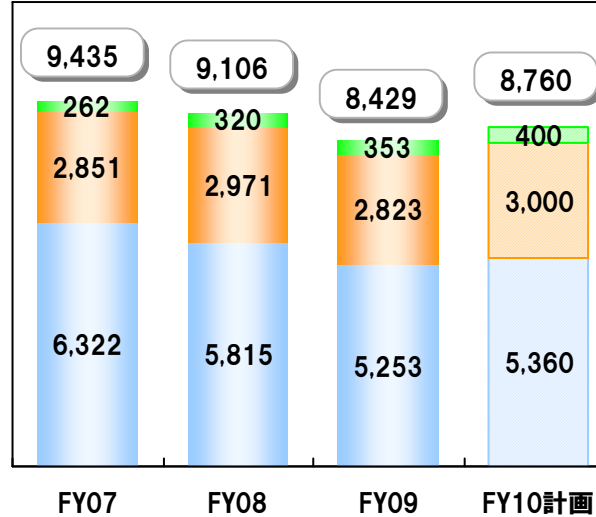
福岡銀行（国内単体）

※FFG向け貸出金除く



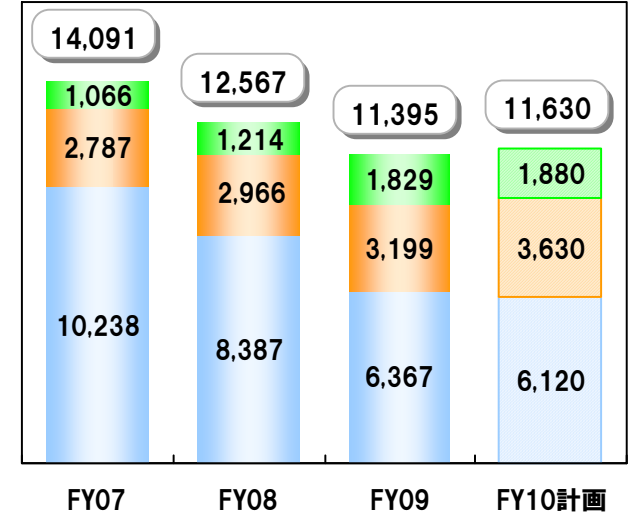
熊本ファミリー銀行（国内単体）

※劣後受益権除く



親和銀行（国内単体）

※劣後受益権除く

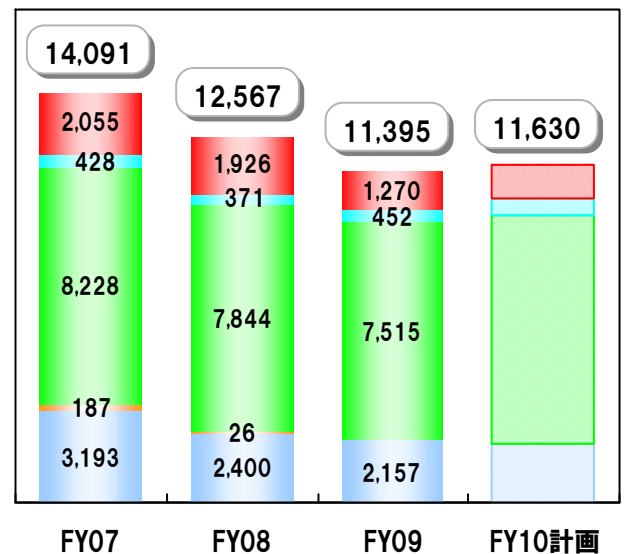
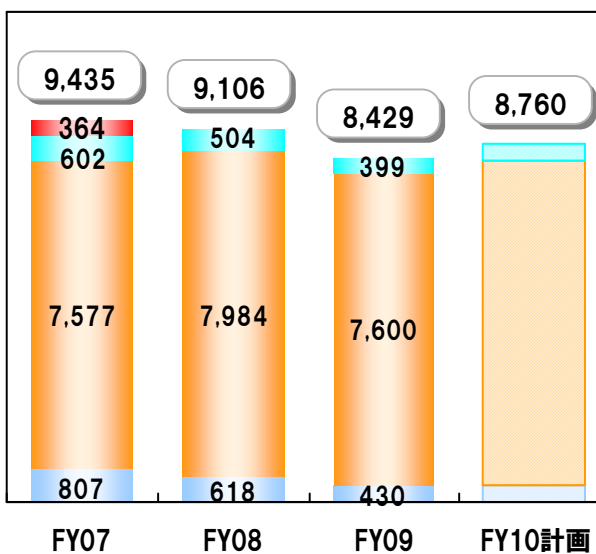
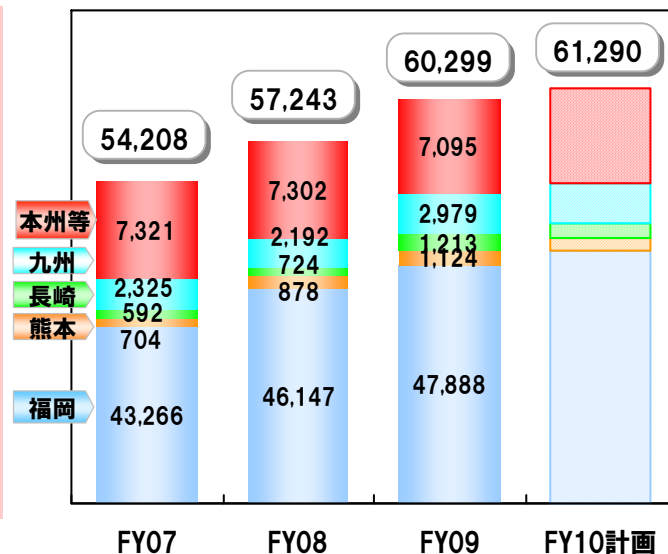


セグメント別平残

(億円)

地区別平残

(億円)



貸出金：業種別

◆業種別貸出金

(単位:億円)

	2010年3月末							
	3行合算		福岡銀行		熊本ファミリー銀行		親和銀行	
国内店分	81,424	100.0%	61,110	100.0%	8,496	100.0%	11,817	100.0%
製造業	6,614	8.1%	5,150	8.4%	464	5.5%	1,000	8.5%
農業・林業	149	0.2%	97	0.2%	32	0.4%	19	0.2%
漁業	133	0.2%	89	0.1%	13	0.2%	30	0.3%
鉱業・採石業・砂利採取業	109	0.1%	53	0.1%	12	0.1%	44	0.4%
建設業	2,708	3.3%	1,756	2.9%	445	5.2%	508	4.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	666	0.8%	527	0.9%	28	0.3%	111	0.9%
情報通信業	511	0.6%	404	0.7%	60	0.7%	48	0.4%
運輸業・郵便業	3,092	3.8%	2,614	4.3%	164	1.9%	314	2.7%
卸売業・小売業	9,583	11.8%	7,721	12.6%	825	9.7%	1,036	8.8%
金融業・保険業	3,571	4.4%	2,849	4.7%	261	3.1%	462	3.9%
不動産業・物品賃貸業	12,041	14.8%	9,568	15.7%	1,508	17.7%	965	8.2%
その他各種サービス業	8,824	10.8%	5,917	9.7%	1,414	16.6%	1,493	12.6%
地方公共団体	9,960	12.2%	7,657	12.5%	369	4.3%	1,935	16.4%
その他	23,463	28.8%	16,709	27.3%	2,902	34.2%	3,852	32.6%

2009年3月末比				
3行合算	福岡銀行	熊本F銀行	親和銀行	
▲1,022	▲1,027	▲141	147	
▲315	▲294	▲25	5	
6	21	▲15	0	
▲27	▲15	▲7	▲6	
▲9	▲5	▲1	▲2	
▲256	▲174	▲6	▲75	
▲173	▲140	3	▲37	
▲28	44	▲9	▲63	
▲18	1	3	▲22	
▲760	▲570	▲21	▲169	
▲487	▲376	▲30	▲81	
▲161	▲133	▲44	16	
▲503	▲366	▲87	▲51	
1,016	480	39	497	
694	501	61	133	

◆業種別リスク管理債権

(単位:億円)

	2010年3月末							
	3行合算		福岡銀行		熊本ファミリー銀行		親和銀行	
国内店分	2,131	100.0%	1,677	100.0%	138	100.0%	315	100.0%
製造業	225	10.6%	169	10.1%	11	7.8%	46	14.6%
農業・林業	6	0.3%	3	0.2%	2	1.3%	1	0.3%
漁業	19	0.9%	8	0.4%	2	1.4%	10	3.1%
鉱業・採石業・砂利採取業	10	0.5%	3	0.2%	-	-	8	2.5%
建設業	132	6.2%	96	5.7%	12	8.3%	25	7.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	-	-	0	0.1%	-	-
情報通信業	12	0.6%	7	0.4%	3	2.5%	2	0.6%
運輸業・郵便業	121	5.7%	108	6.4%	1	0.6%	13	4.1%
卸売業・小売業	401	18.8%	329	19.6%	26	18.5%	46	14.6%
金融業・保険業	28	1.3%	2	0.1%	6	4.0%	21	6.6%
不動産業・物品賃貸業	396	18.6%	341	20.3%	16	11.6%	39	12.4%
その他各種サービス業	548	25.7%	470	28.0%	26	19.0%	52	16.5%
地方公共団体	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	232	10.9%	144	8.6%	34	24.8%	54	17.0%

2009年3月末比				
3行合算	福岡銀行	熊本F銀行	親和銀行	
▲938	▲871	27	▲94	
▲110	▲140	3	27	
1	1	1	▲0	
▲7	▲1	▲3	▲3	
3	▲4	▲0	7	
▲54	▲46	1	▲10	
0	-	0	-	
0	▲1	3	▲3	
▲48	▲42	▲1	▲5	
▲155	▲98	7	▲64	
▲81	▲67	▲1	▲13	
▲153	▲149	1	▲6	
▲310	▲325	9	7	
-	-	-	-	
▲24	0	7	▲31	

預金・NCD計画

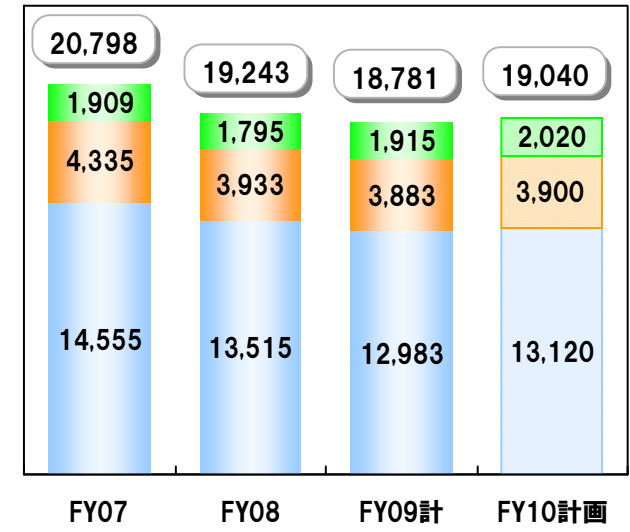
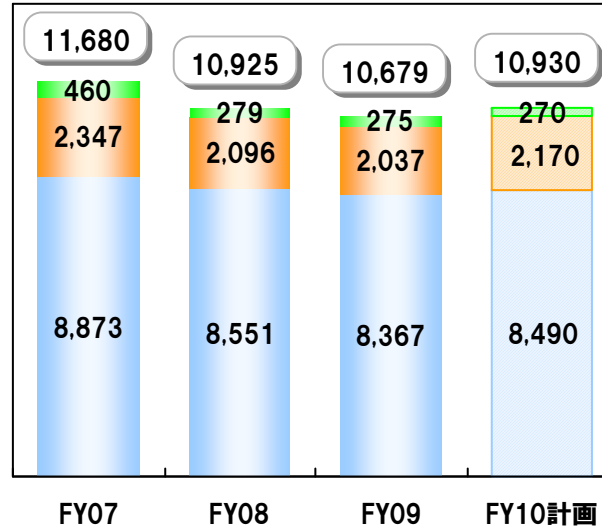
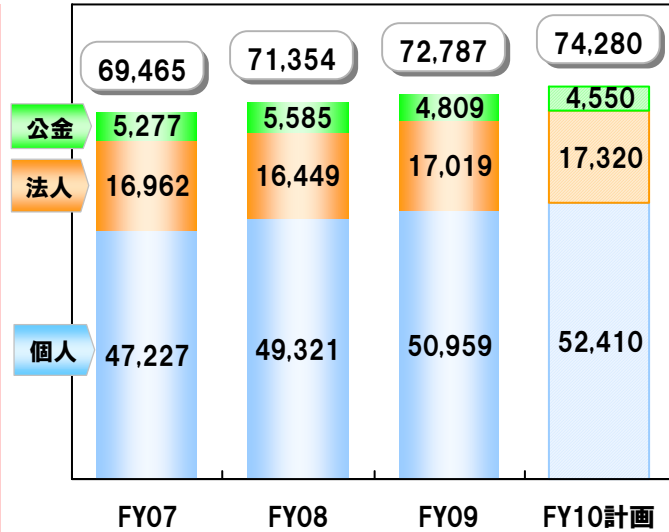
福岡銀行（国内単体）

熊本ファミリー銀行（国内単体）

親和銀行（国内単体）

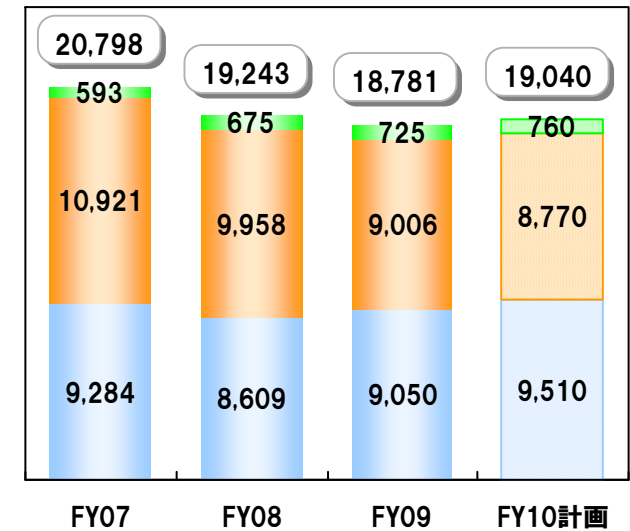
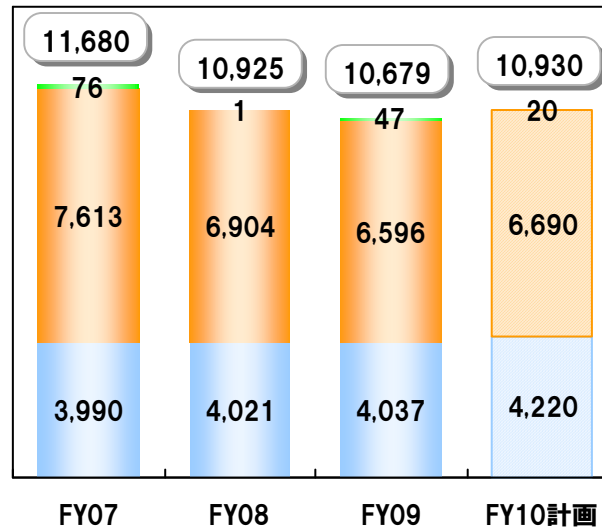
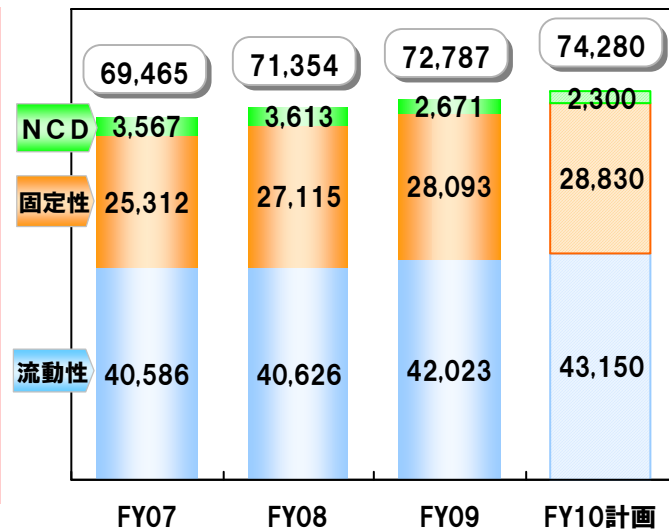
セグメント別平残

(億円)



科目別平残

(億円)



利回り

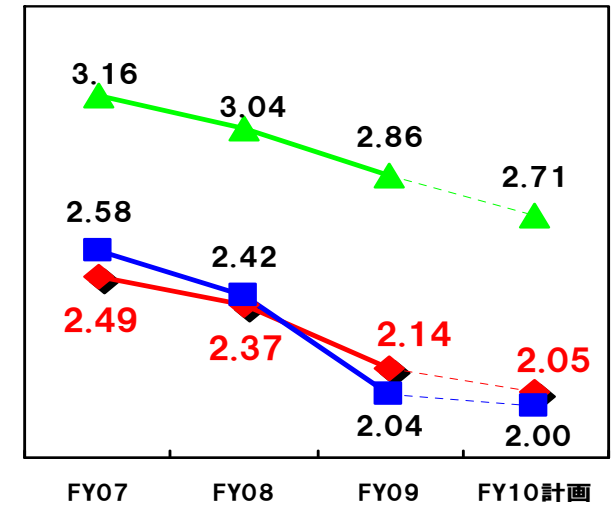
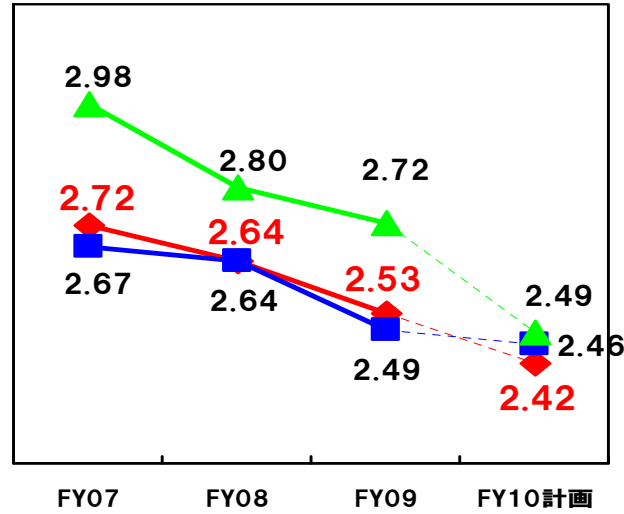
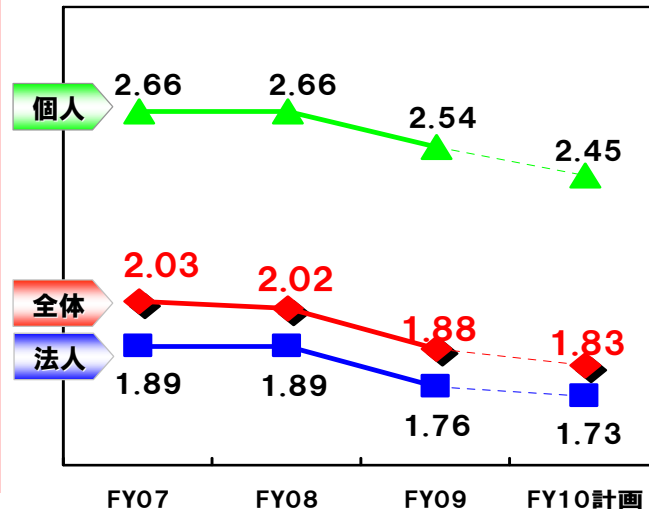
福岡銀行（国内単体）

熊本ファミリー銀行（国内単体）

親和銀行（国内単体）

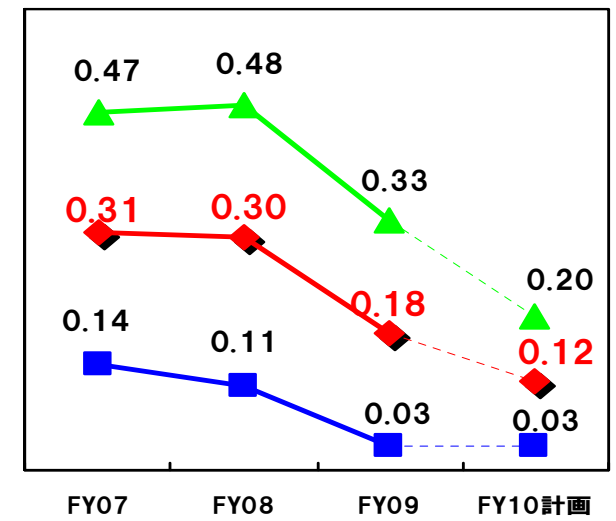
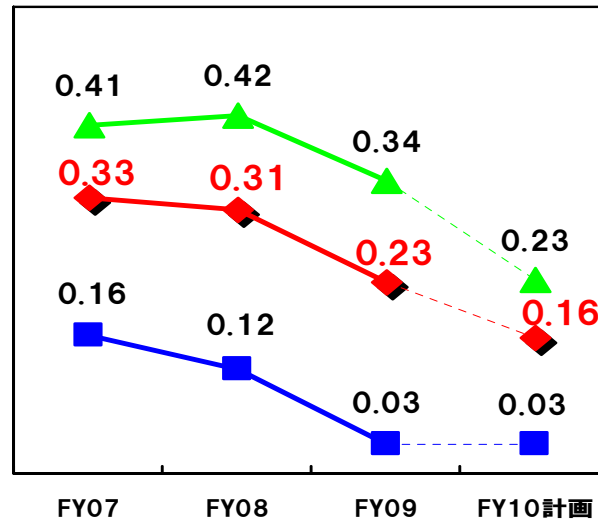
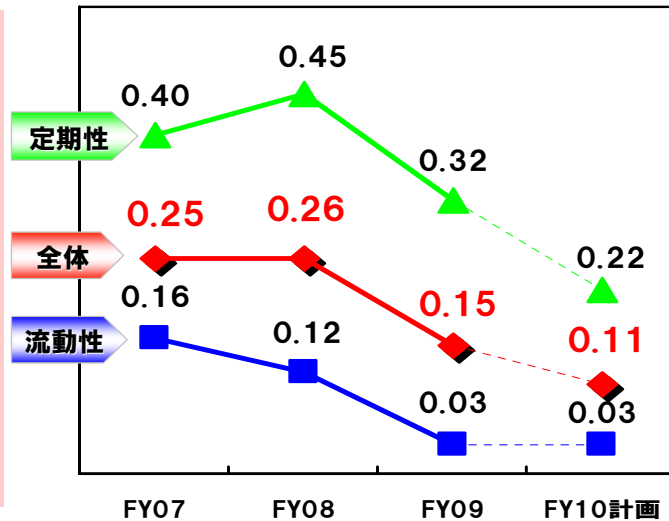
貸出金利回り

(%)



預金等利回り

(%)



有価証券計画

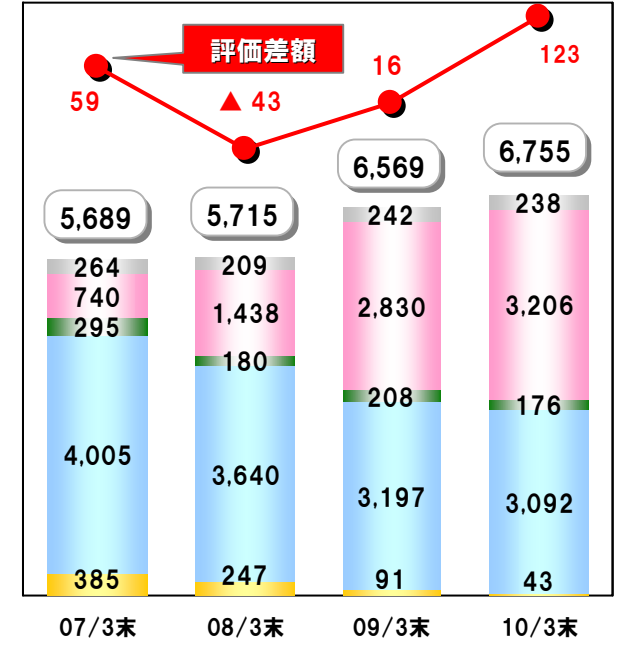
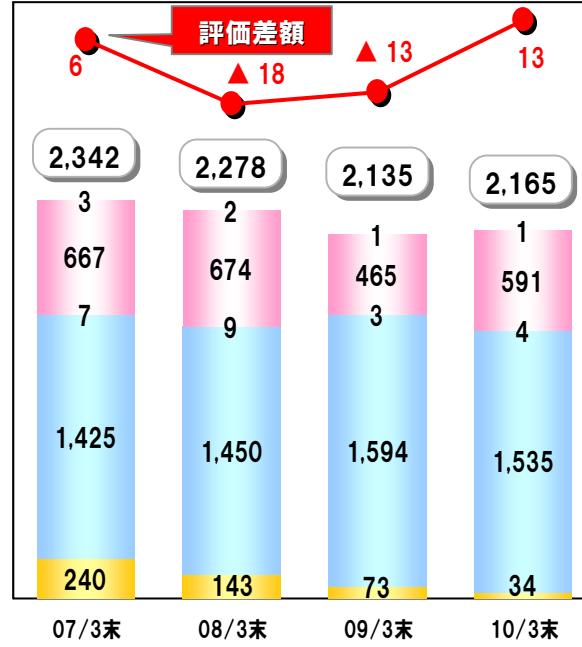
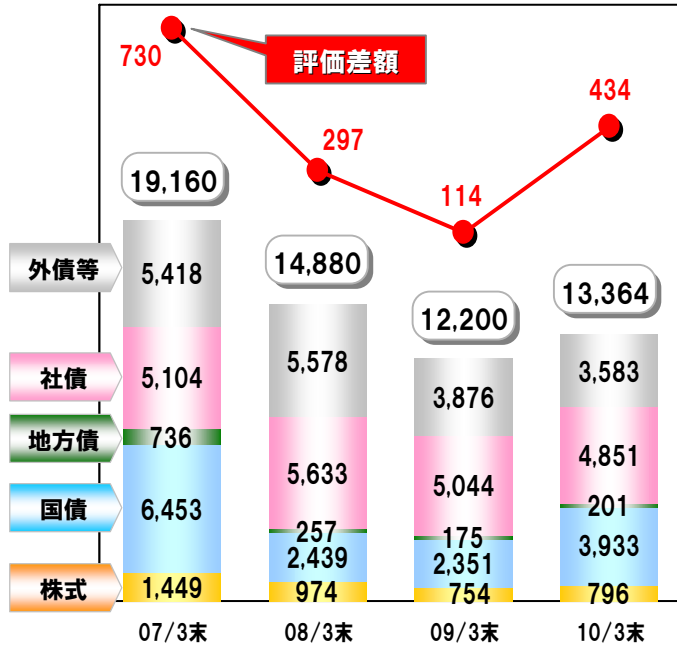
福岡銀行

熊本ファミリー銀行

親和銀行

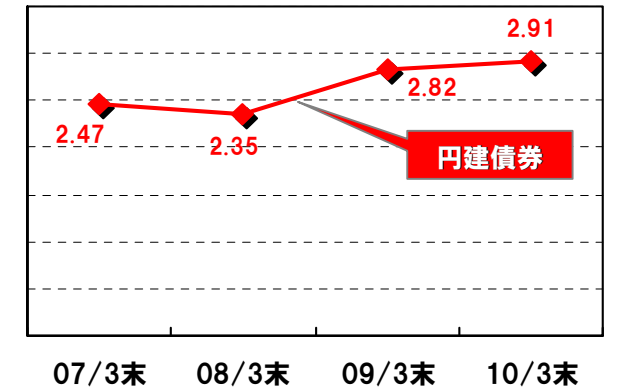
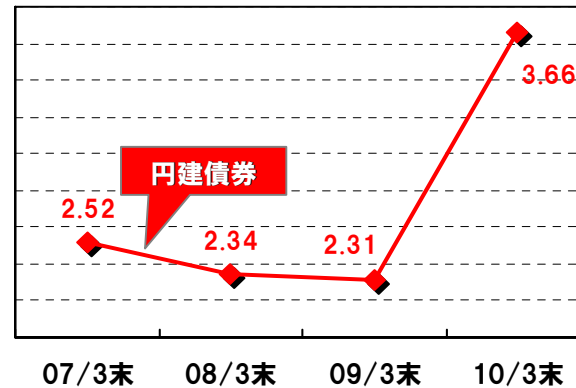
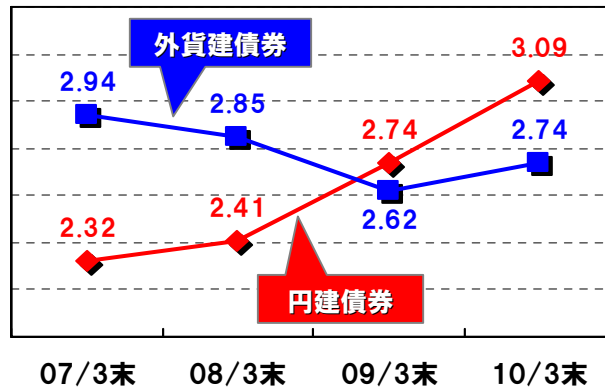
有価証券残高

(億円)

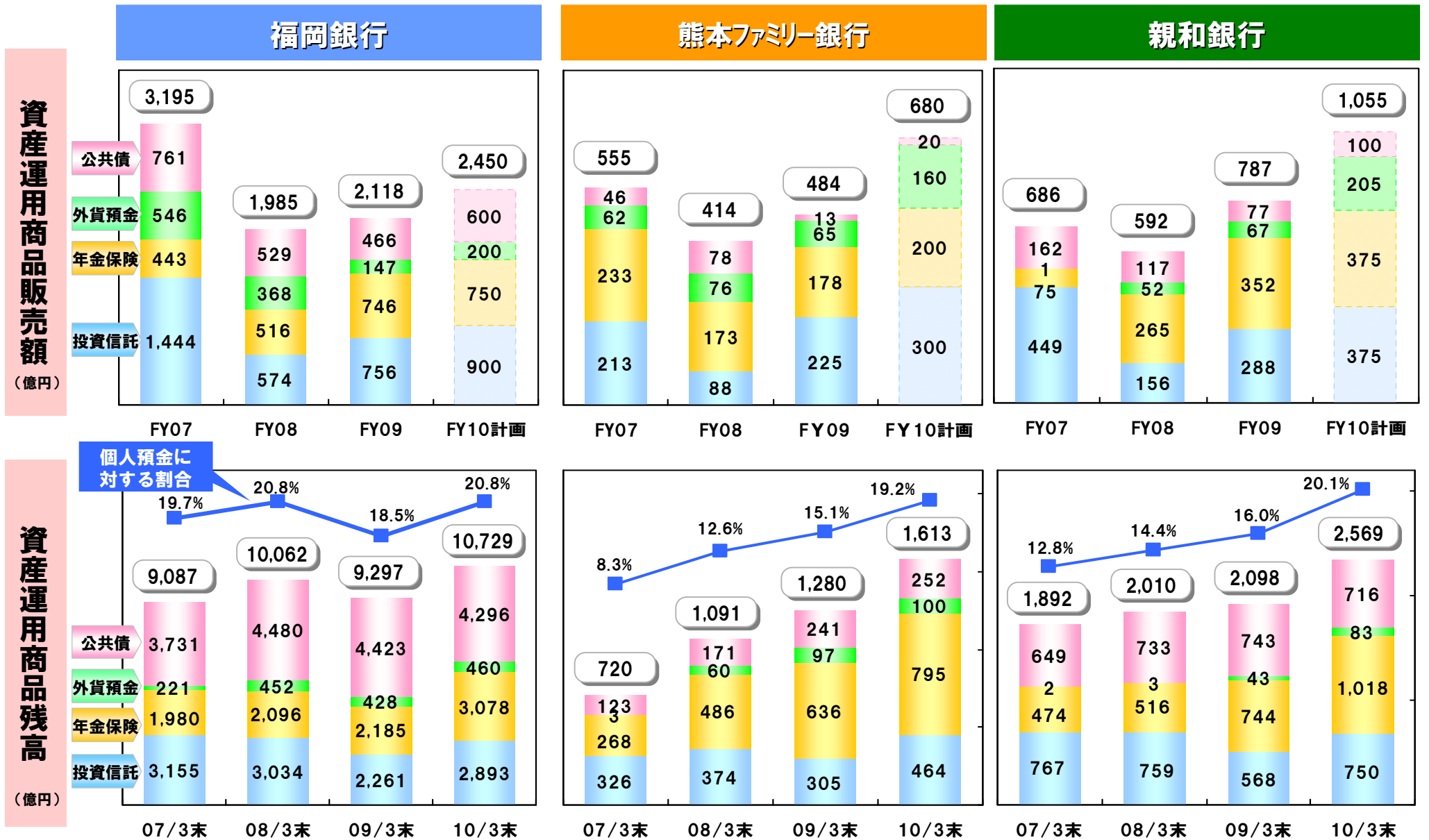


デュレーション

(年)



資産運用商品販売



経費計画

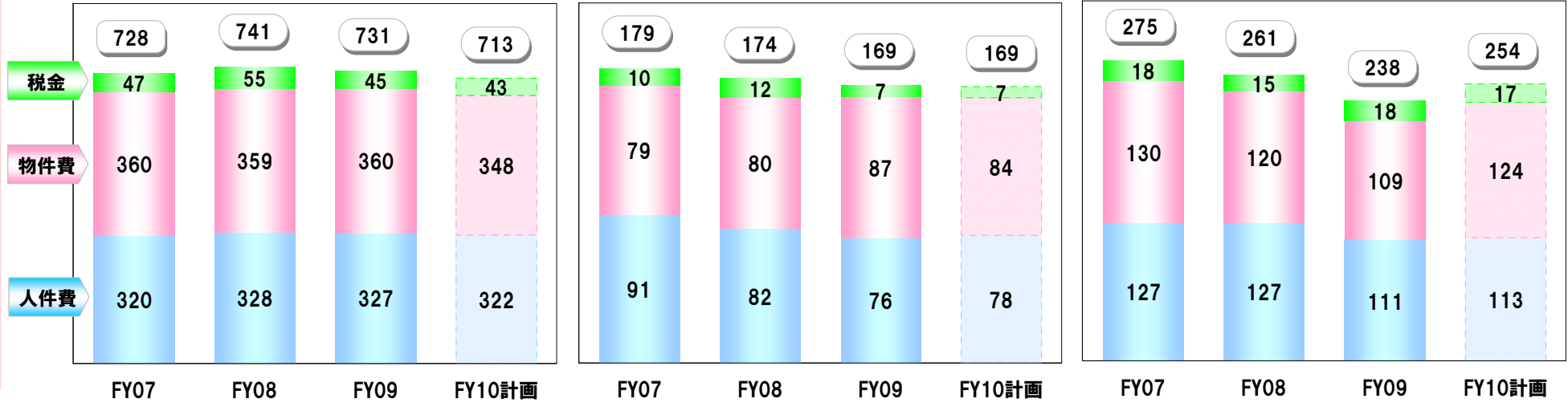
福岡銀行

熊本ファミリー銀行

親和銀行

経費

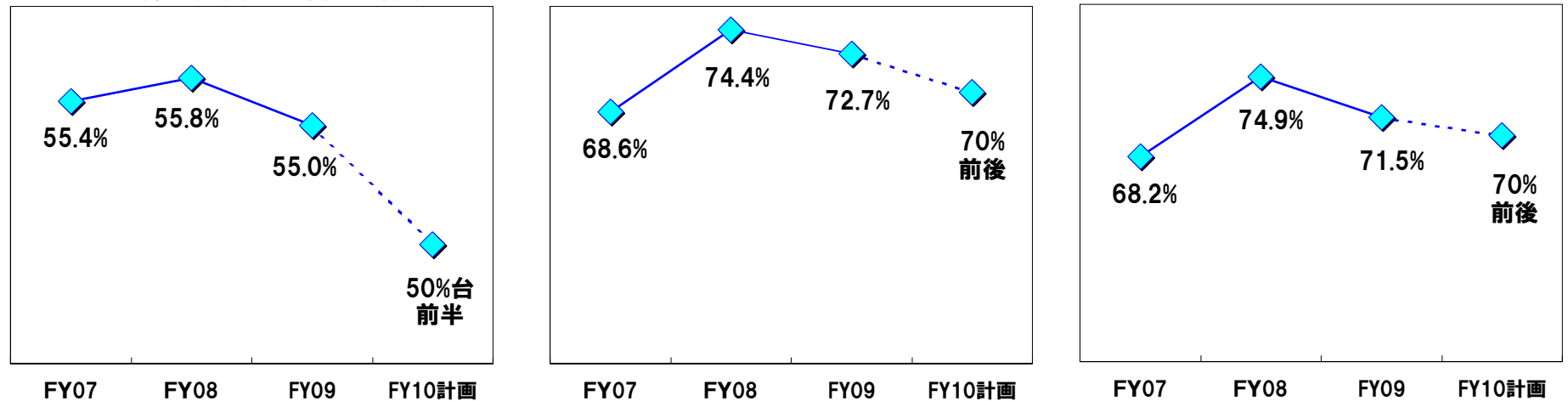
(億円)



※コアOHR = 経費 ÷ (業務粗利益 - 債券関連損益)

コアOHR

(%)



信用コスト・不良債権

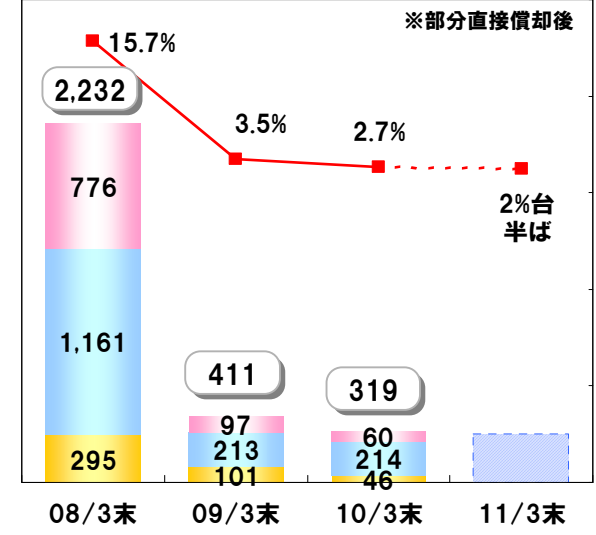
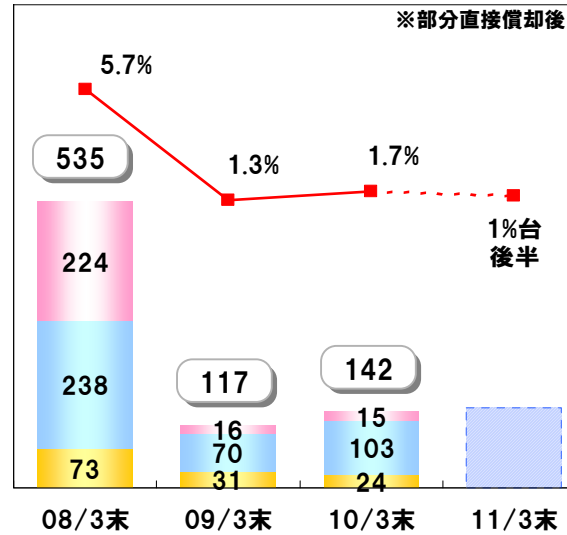
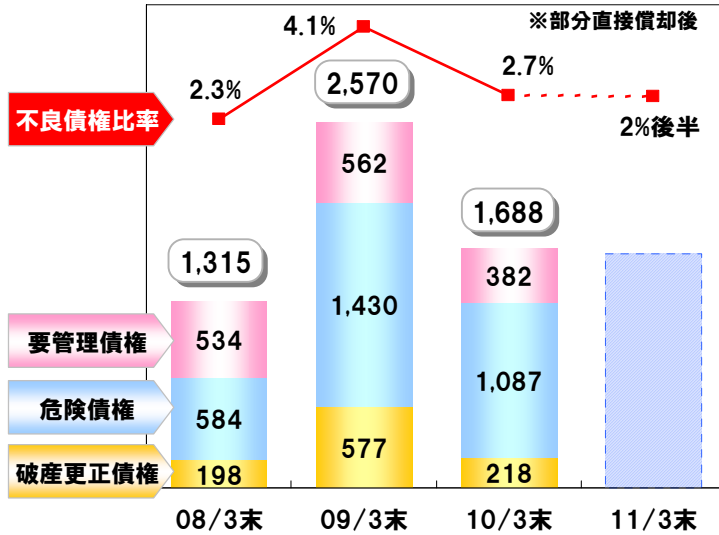
福岡銀行

熊本ファミリー銀行

親和銀行

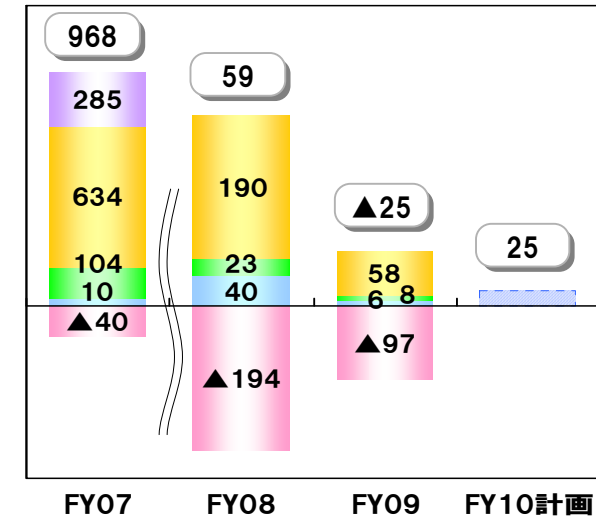
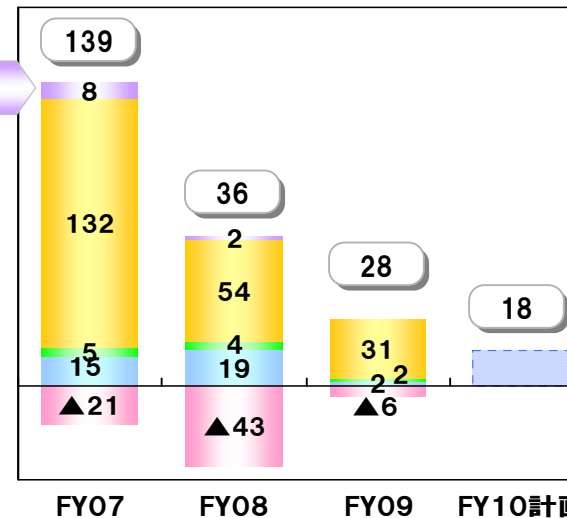
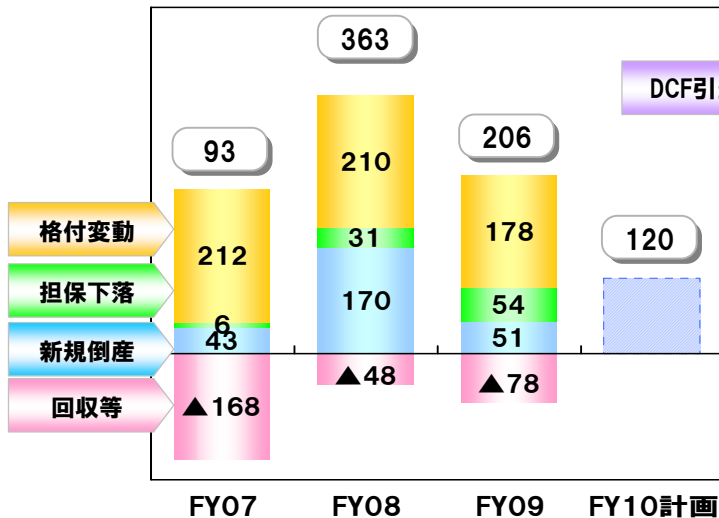
不良債権残高・比率

(億円)



信用コスト

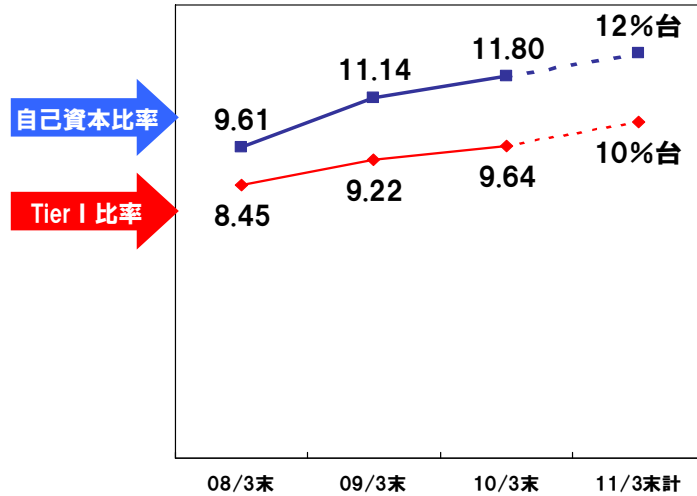
(億円)



自己資本比率

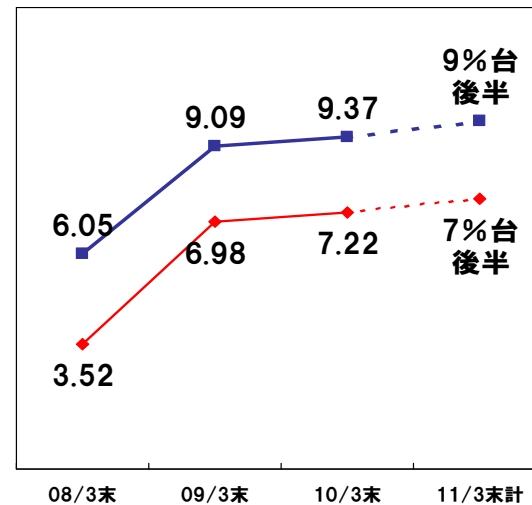
福岡銀行（連結）

信用リスク：基礎的内部格付手法
オペリスク：粗利益配分手法



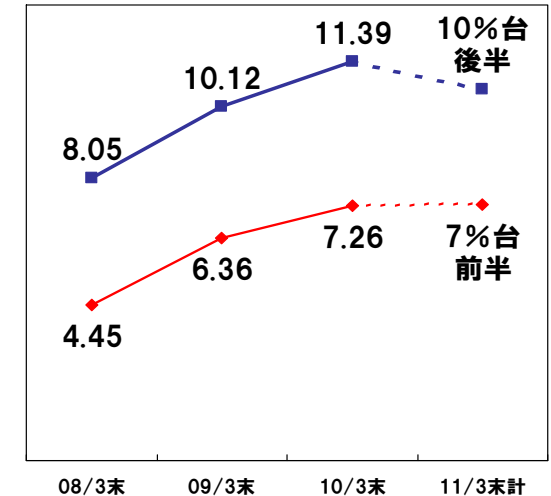
熊本ファミリー銀行（単体）

信用リスク：標準的手法
オペリスク：粗利益配分手法



親和銀行（連結）

信用リスク：標準的手法
オペリスク：粗利益配分手法

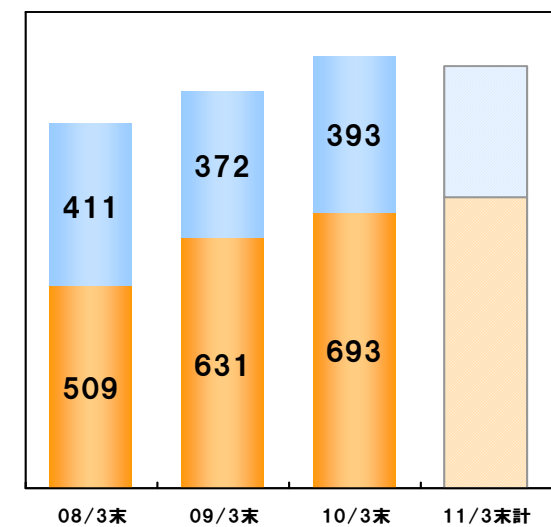
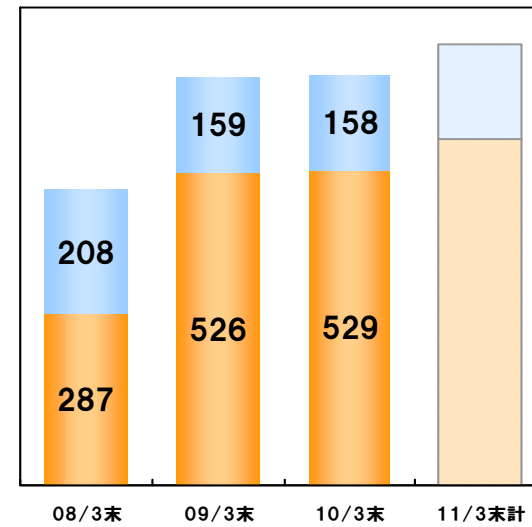
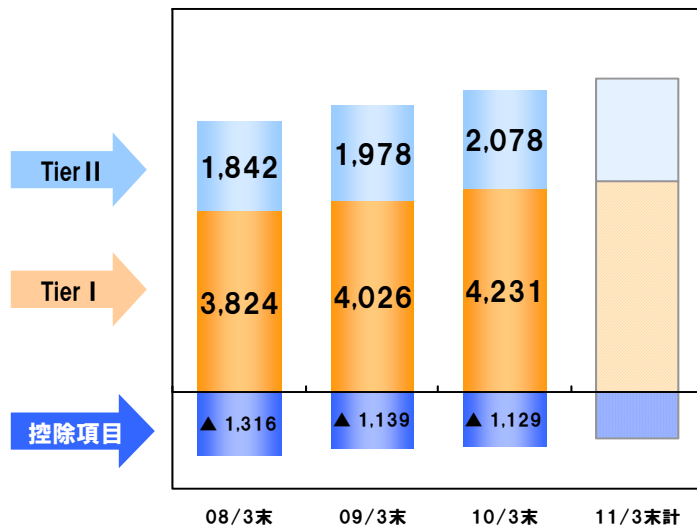


自己資本比率

(%)

自己資本の状況

(億円)



債務者区分遷移：福岡銀行（単体）

債務者区分の移動状況（2009年3月末→2010年3月末）

（単位：億円）

09年3月末 債務者区分別残高			10年3月末債務者区分（合計 61,692億円）					増減 (バルク) (回収) (新規)		
			破綻先	実質破綻先	破綻懸念先	要注意先			正常先	
要管理先	要管理以外の 要注意先									
破綻先	191	→	29	0	0	0	0	▲ 162		
実質破綻先	383	→	14	71	7	0	0	▲ 292		
破綻懸念先	1,427	→	6	39	761	1	209	3	▲ 409	
要注意先	要管理先	654	→	1	5	68	314	195	0	▲ 72
	要管理以外の 要注意先	8,484	→	15	15	165	85	6,374	936	▲ 894
正常先	51,634	→	7	17	87	34	2,157	50,080		
合計	62,774		71	147	1,087	434	8,935	51,019	▲ 1,828	

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾（銀行保証付私募債にかかるものを除く） + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金

債務者区分遷移：熊本ファミリー銀行（単体）

債務者区分の移動状況（2009年3月末→2010年3月末）

（単位：億円）

09年3月末 債務者区分別残高			10年3月末債務者区分（合計 8,589億円）					増減 (バルク) (回収) (新規)		
			破綻先	実質破綻先	破綻懸念先	要注意先			正常先	
要管理先	要管理以外の 要注意先									
破綻先	9	→	1	0	0	0	0	▲ 7		
実質破綻先	21	→	0	10	1	0	0	▲ 10		
破綻懸念先	70	→	1	2	41	0	5	1	▲ 21	
要注意先	要管理先	19	→	0	0	1	11	4	0	▲ 2
	要管理以外の 要注意先	1,530	→	3	2	48	5	1,206	56	▲ 209
正常先	7,097	→	0	5	12	1	360	6,811		
合計	8,745		5	19	103	18	1,577	6,867	▲ 249	

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾（銀行保証付私募債にかかるものを除く） + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金

債務者区分遷移：親和銀行（単体）

債務者区分の移動状況（2009年3月末→2010年3月末）

（単位：億円）

09年3月末 債務者区分別残高		→	10年3月末債務者区分（合計11,953億円）					増減 (バルク) (回収) (新規)	
			破綻先	実質破綻先	破綻懸念先	要注意先			正常先
						要管理先	要管理以外の 要注意先		
破綻先	21	→	4	0	0	0	0	▲ 18	
実質破綻先	80	→	1	18	2	0	0	5	▲ 54
破綻懸念先	213	→	1	9	96	0	11	11	▲ 85
要注意先	要管理先	→	0	0	20	78	19	0	▲ 18
	要管理以外の 要注意先	→	1	3	63	21	1,151	116	▲ 204
正常先	9,795	→	1	8	30	1	251	10,032	
合計	11,803		8	38	212	100	1,433	10,163	▲ 379

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾（銀行保証付私募債にかかるものを除く） + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金

引当・保全状況：福岡銀行（単体）

要注意先以下の引当・保全状況

●金融再生法開示債権の保全率：77.5%

2010年3月期

()内は2009年3月末実績

(単位：億円)

債務者区分	残高 A	担保 保証 B	アンカバー C =A-B	引当金 D	債権額に対する		アンカバーに対する		保全率 B+D A
					引当率 D/A	うち DCF先	引当率 D/C	うち DCF先	
破綻先	71	166	52	52	(37.5%)	—	(100%)	—	(100%)
実質破綻先	147				24.0%	100%	100%		
破綻懸念先	1,087	504	583	399	(38.4%) 36.7%	(68.4%) 75.1%	(70.6%) 68.4%	(94.8%) 96.2%	(84.0%) 83.1%
要管理債権	382	98	284	88	(25.0%) 22.9%	(28.8%) 26.9%	(30.9%) 30.9%	(35.1%) 35.1%	(44.3%) 48.6%
開示債権合計	1,688	768	920	539	(35.3%) 31.9%	(50.6%) 52.7%	(62.5%) 58.6%	(66.1%) 68.1%	(78.9%) 77.5%
要管理債権以外の 要注意先債権	9,028	4,753	4,275	409	(3.2%) 4.5%	(16.7%) 18.3%	(6.9%) 9.6%	(25.4%) 27.6%	(56.2%) 57.2%
要注意先 合計	9,411	4,852	4,559	497	(4.2%) 5.3%	(18.1%) 19.6%	(8.2%) 10.9%	(26.4%) 28.9%	(53.4%) 56.8%
要注意先以下の 合計	10,716	5,522	5,194	948	(10.3%) 8.9%	(31.6%) 27.9%	(20.3%) 18.3%	(45.5%) 40.2%	(59.7%) 60.4%

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾（銀行保証付私募債にかかるものを含む） + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金

引当・保全状況：熊本ファミリー銀行（単体）

要注意先以下の引当・保全状況

●金融再生法開示債権の保全率：79.3%

2010年3月期

()内は2009年3月末実績

(単位：億円)

債務者区分	残高 A	担保 保証 B	アンカバー C =A-B	引当金 D	債権額に対する		アンカバーに対する		保全率 B+D A
					引当率 D/A	うち DCF先	引当率 D/C	うち DCF先	
破綻先	5	20	4	4	(12.7%)	—	(100%)	—	(100%)
実質破綻先	19				16.0%	100%	100%		
破綻懸念先	103	68	36	15	(26.5%) 14.7%	(33.4%) —	(73.4%) 42.6%	(97.2%) —	(90.4%) 80.2%
要管理債権	15	3	12	3	(20.1%) 21.4%	— —	(22.8%) 25.9%	— —	(32.1%) 38.9%
開示債権合計	142	90	52	22	(21.9%) 15.6%	(33.4%) —	(59.8%) 42.9%	(97.2%) —	(85.3%) 79.3%
要管理債権以外 の要注意先債権	1,585	896	689	73	(2.9%) 4.6%	(9.2%) 18.3%	(6.4%) 10.6%	(18.9%) 32.2%	(57.2%) 61.1%
要注意先 合計	1,599	899	701	76	(3.1%) 4.8%	(9.2%) 18.3%	(6.7%) 10.9%	(18.9%) 32.2%	(56.9%) 60.9%
要注意先以下 の合計	1,727	986	740	95	(4.3%) 5.5%	(16.9%) 18.3%	(9.5%) 12.8%	(38.0%) 32.2%	(59.2%) 62.6%

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾（銀行保証付私募債にかかるものを含む） + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金

引当・保全状況：親和銀行（単体）

要注意先以下の引当・保全状況

●金融再生法開示債権の保全率：82.5%

2010年3月期

() 内は2009年3月末実績

(単位：億円)

債務者区分	残高 A	担保 保証 B	アンカバー C =A-B	引当金 D	債権額に対する		アンカバーに対する		保全率 $\frac{B+D}{A}$
					引当率 D/A	うち DCF先	引当率 D/C	うち DCF先	
破綻先	8	41	4	4	(38.1%)	—	(100%)	—	(100%)
実質破綻先	38				9.7%	100%	100%		
破綻懸念先	214	109	105	78	(28.5%) 36.3%	(61.5%) 78.2%	(74.4%) 73.9%	(99.8%) 93.3%	(90.2%) 87.2%
要管理債権	60	12	47	19	(36.4%) 31.7%	(45.8%) 42.5%	(48.8%) 40.0%	(52.5%) 48.2%	(61.7%) 52.4%
開示債権合計	319	163	157	101	(32.8%) 31.6%	(54.3%) 66.9%	(69.9%) 64.4%	(74.1%) 78.6%	(85.9%) 82.5%
要管理債権以外 の要注意先債権	1,477	858	619	78	(8.6%) 5.3%	(34.6%) 25.4%	(18.5%) 12.6%	(47.1%) 38.4%	(61.9%) 63.4%
要注意先 合計	1,537	871	666	97	(10.2%) 6.3%	(40.2%) 28.3%	(21.2%) 14.6%	(50.0%) 40.5%	(61.9%) 63.0%
要注意先以下 の合計	1,796	1,021	776	179	(13.5%) 10.0%	(48.2%) 41.6%	(29.0%) 23.1%	(65.7%) 56.5%	(66.8%) 66.8%

※与信残高 = 貸出金 + 支払承諾（銀行保証付私募債にかかるものを含む） + 外国為替 + 未収利息 + 与信関連仮払金

Part IV

参考資料

福岡・熊本・長崎の経済概況

■ 地元3県を含め九州各県の景気は、緩やかながらも持ち直しの動きが続いている。

	全国 (4月・月例経済報告)		福岡県 (4月・県内経済の動向)		熊本県 (4月・金融経済概観)		長崎県 (4月・金融経済概況)	
基調判断	景気は、着実に持ち直しているが、自律性は弱く厳しい状況にある。		-	-	-	-	-	-
生産動向	持ち直している。		持ち直している。		持ち直しの動きが一段と強まっている。		持ち直しを続けている。	
設備投資	下げ止まりつつある。		21年度は、製造業が大きく下回り、全体では前年度を下回る見込み。		製造業では活性化させる動きが見られる		下げ止まりの動きが見られる	
貿易	輸出は緩やかに増加、輸入は緩やかに持ち直している。		輸出は、横ばいで推移。輸入は、低い水準が続いている。		-	-	-	-
住宅投資	持ち直している		下げ止まりの動きが見られるが依然低調に推移。		依然低水準だが持ち家では持ち直し気配		下げ止まりの動きが見られる。	
企業倒産	概ね横ばいとなっている。		減少している。		足許落ち着いた動き		横ばい推移。	
雇用情勢	依然として厳しいものの持ち直しの動き。		依然として厳しい状況にある。		厳しい状況だが、和らぎつつある。		引続き厳しい状況	
個人消費	持ち直している。		概ね横ばいで推移している。		回復の動き、一部持ち直しの動きが見られる。		弱い動きを続けているが一部持ち直しの動き。	

出所：内閣府

出所：ふくおかデータウェブ

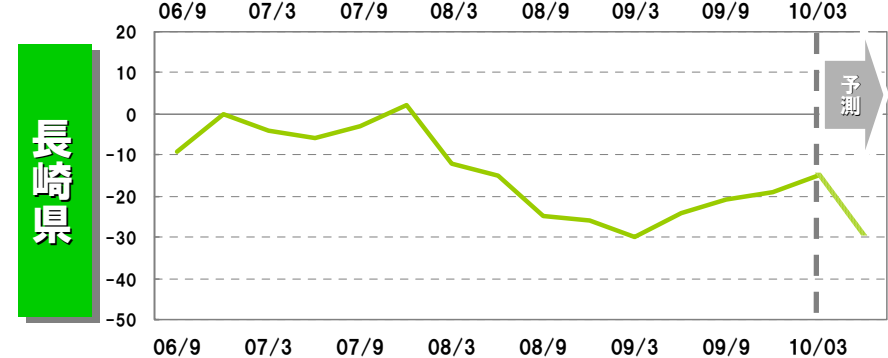
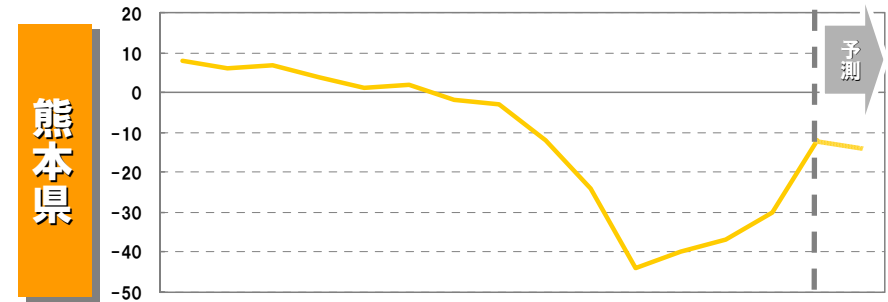
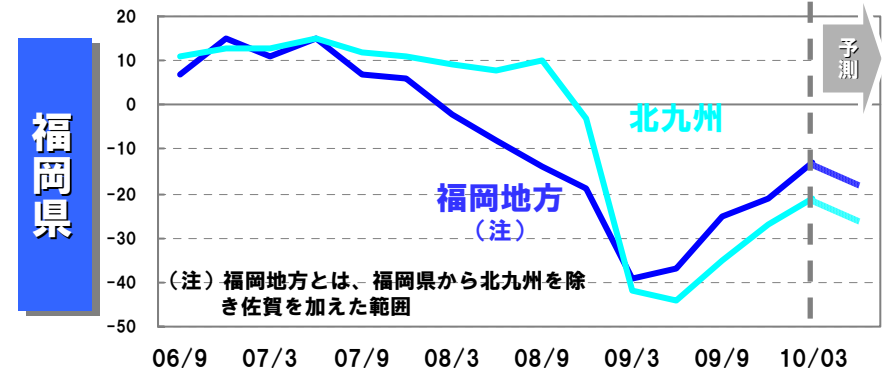
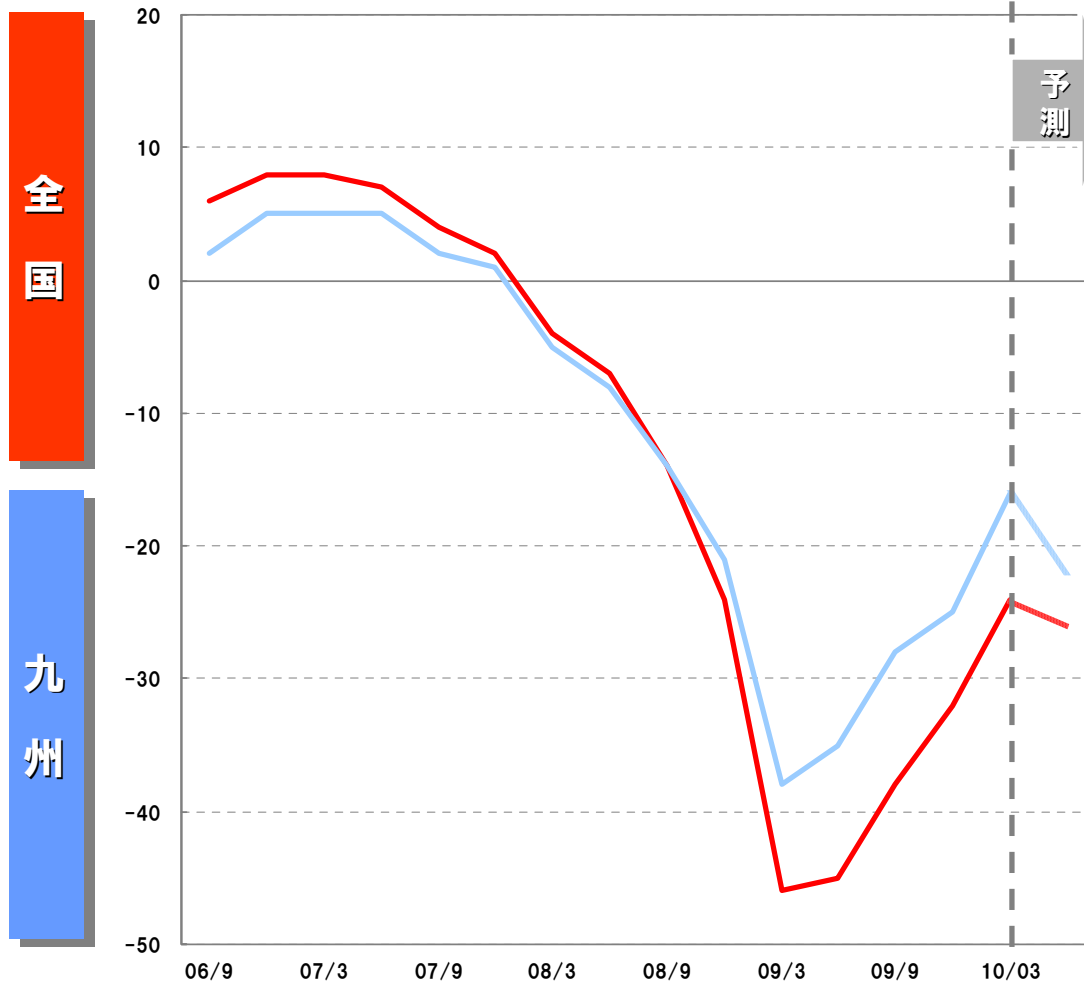
出所：日本銀行 熊本支店

出所：日本銀行 長崎支店

景気動向

- 九州及び地元3県の企業景況感は全国同様、4四半期連続で改善し回復基調。先行きについては依然不透明感が残る。

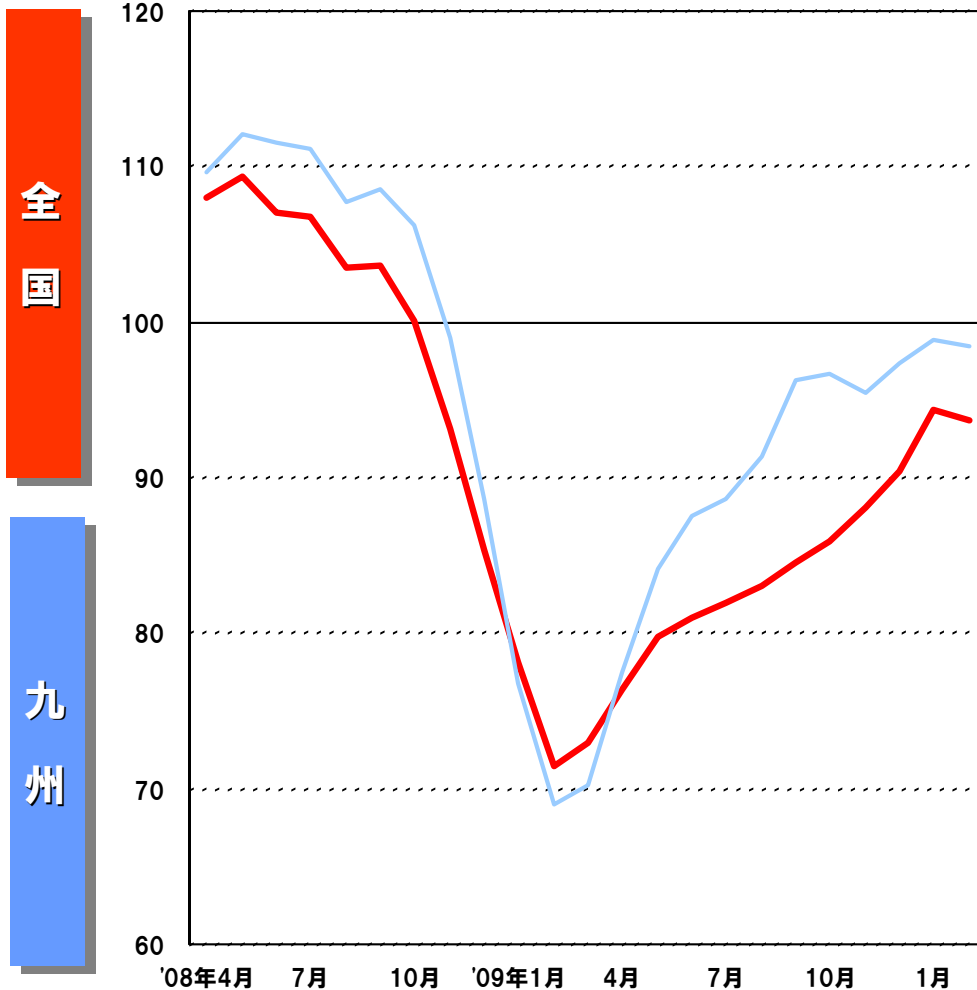
(業況判断DI：日銀短観)



生産動向

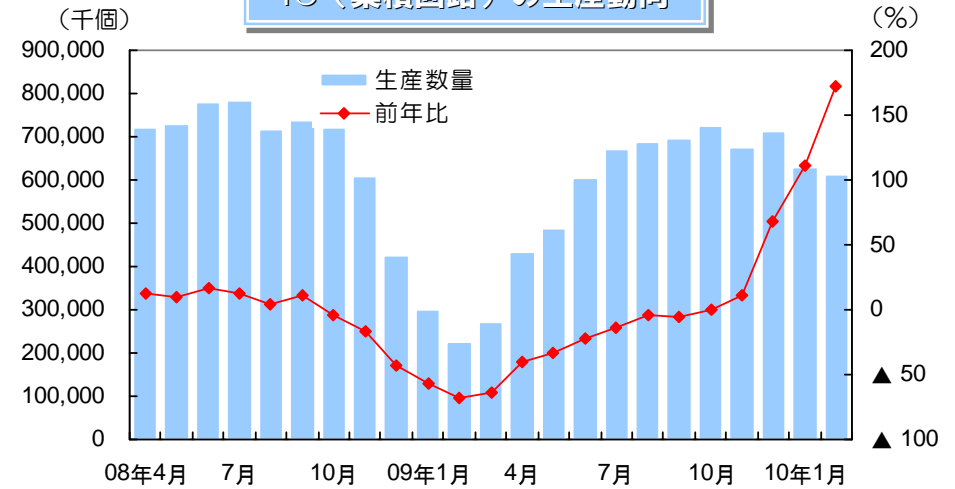
- アジアを中心とした外需回復や経済対策効果を反映して、九州の生産は持ち直しが続いている。
- 九州の主要産業であるIC（集積回路）産業および自動車産業は大幅減産の反動で前年比倍増。

（鉱工業生産指数 2005年=100）

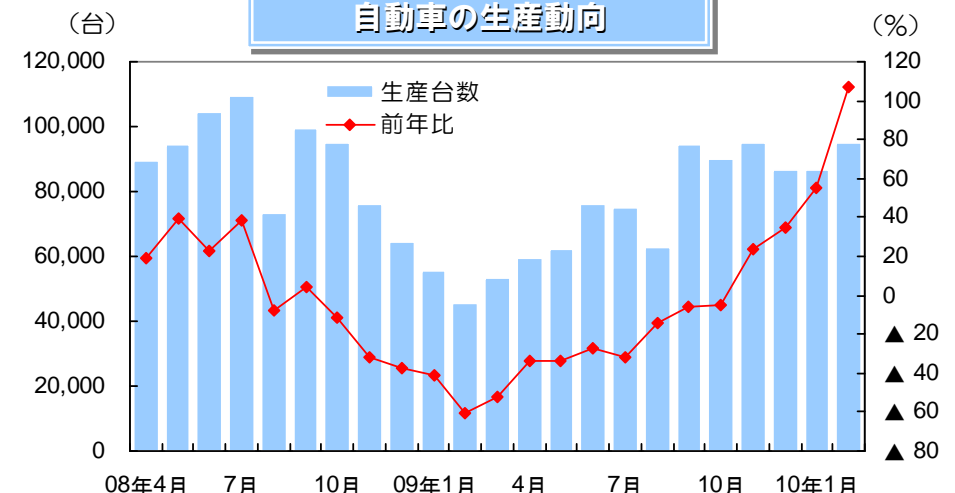


【九州】
主要産業の生産動向

IC（集積回路）の生産動向



自動車の生産動向

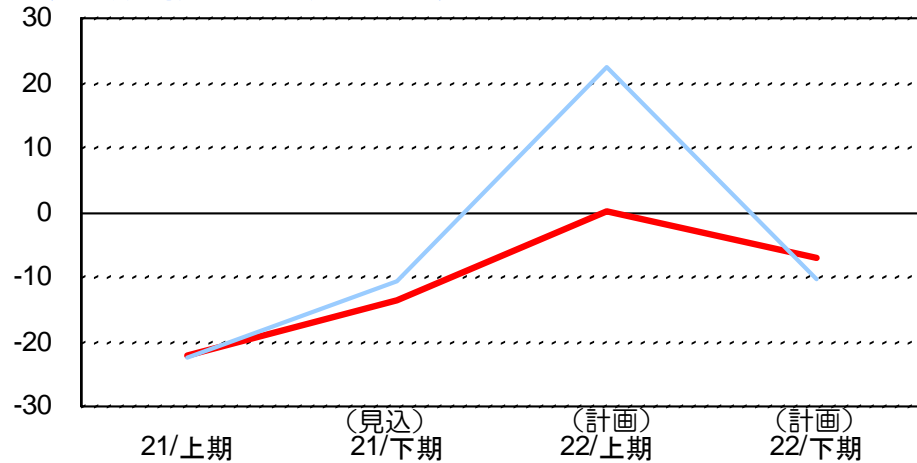


設備投資・住宅投資

- 九州の設備投資は21年度に製造業を中心に大幅減少したが、22年度は3年ぶりに前年比プラス計画。
- 住宅投資も低迷が続いているものの、経済対策効果により持家で底打ちが見られる。

設備投資

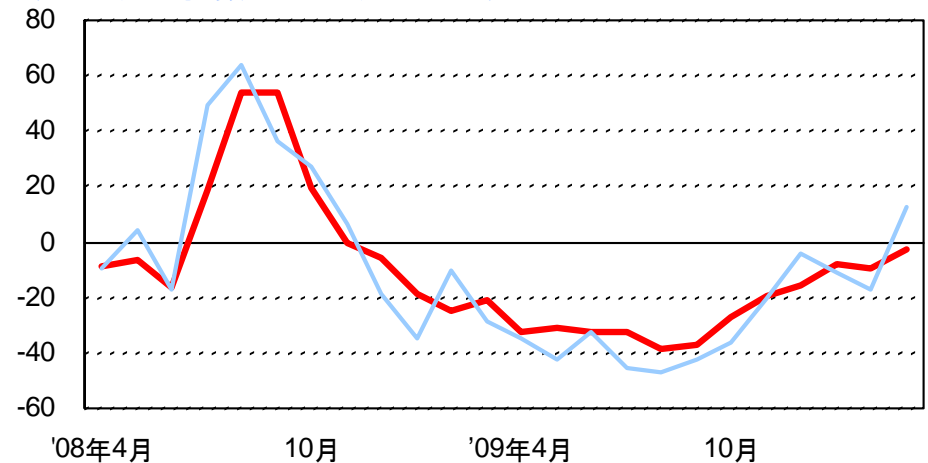
(日銀短観:前年同期比、%)



(%)

住宅投資

(住宅着工件数:前年同期比、%)



(上段:戸数、下段:前年同期比%)

		21/上期	21/下期 (見込)	22/上期 (計画)	22/下期 (計画)
全国	全産業	▲22.2	▲13.6	0.1	▲7.2
	製造業	▲34.5	▲27.2	0.9	▲5.5
	非製造業	▲15.4	▲7.2	▲0.3	▲7.8
九州	全産業	▲22.6	▲10.5	22.6	▲10.3
	製造業	▲41.7	▲38.1	39.1	▲15.9
	非製造業	▲8.8	8.5	15.0	▲8.1

		21.4~6	21.7~9	21.10~12	22.1~3
全国	総数	197,271 (▲31.9)	186,904 (▲35.8)	204,616 (▲20.9)	186,486 (▲6.6)
	九州	総数	17,258 (▲36.9)	15,514 (▲45.0)	18,700 (▲21.4)
	持家	6,744 (▲9.5)	6,961 (▲16.9)	7,300 (0.2)	6,291 (0.6)
	貸家	7,505 (▲48.2)	6,917 (▲51.2)	8,820 (▲29.0)	7,335 (▲11.0)
	分譲住宅	2,764 (▲47.7)	1,565 (▲69.9)	2,398 (▲35.9)	2,388 (▲13.2)

地価動向

- 平成22年地価調査では、景気低迷を反映して全国ほぼ全ての地点で前年より下落。
- 地元3県および九州各県でも下落傾向が続く。

<国土交通省：平成22年地価公示に基づく地価動向について>

平成21年1月以降の地価は、全国ほぼ全ての地点において年間で下落となった。下落率は、総じて三大都市圏の方が地方圏よりも、また商業圏の方が住宅地よりも大きい。
半年毎に地価を把握できる地点では、三大都市圏では前半よりも後半の方が下落率が小さくなっている。

(国土交通省 2010年3月19日発表)

標準地価変動率

(単位：%)

	住宅地			商業地		
	09年	10年	増減	09年	10年	増減
全国	▲ 3.2	▲ 4.2	▲ 1.0	▲ 4.7	▲ 6.1	▲ 1.4
東京圏	▲ 4.4	▲ 4.9	▲ 0.5	▲ 6.1	▲ 7.3	▲ 1.2
3大都市圏	▲ 3.5	▲ 4.5	▲ 1.0	▲ 5.4	▲ 7.1	▲ 1.7
福岡	▲ 2.8	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 6.3	▲ 7.0	▲ 0.7
佐賀	▲ 2.7	▲ 3.6	▲ 0.9	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 1.0
長崎	▲ 3.8	▲ 4.3	▲ 0.5	▲ 4.3	▲ 4.5	▲ 0.2
熊本	▲ 3.3	▲ 3.4	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 4.8	▲ 0.3
大分	▲ 3.6	▲ 4.2	▲ 0.6	▲ 4.6	▲ 5.5	▲ 0.9
宮崎	▲ 1.3	▲ 1.7	▲ 0.4	▲ 3.3	▲ 3.5	▲ 0.2
鹿児島	▲ 3.0	▲ 3.7	▲ 0.7	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 0.6
山口	▲ 4.3	▲ 5.7	▲ 1.4	▲ 5.2	▲ 6.7	▲ 1.5

福岡県内主要都市基準地価変動率

	住宅地		商業地	
	09年	10年	09年	10年
福岡市	▲ 2.5	▲ 3.3	▲ 9.6	▲ 10.1
北九州市	▲ 3.1	▲ 3.8	▲ 4.2	▲ 4.8

熊本県内主要都市基準地価変動率

	住宅地		商業地	
	09年	10年	09年	10年
熊本市	▲ 2.8	▲ 2.9	▲ 2.6	▲ 3.5
八代市	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 5.2	▲ 4.1

長崎県内主要都市基準地価変動率

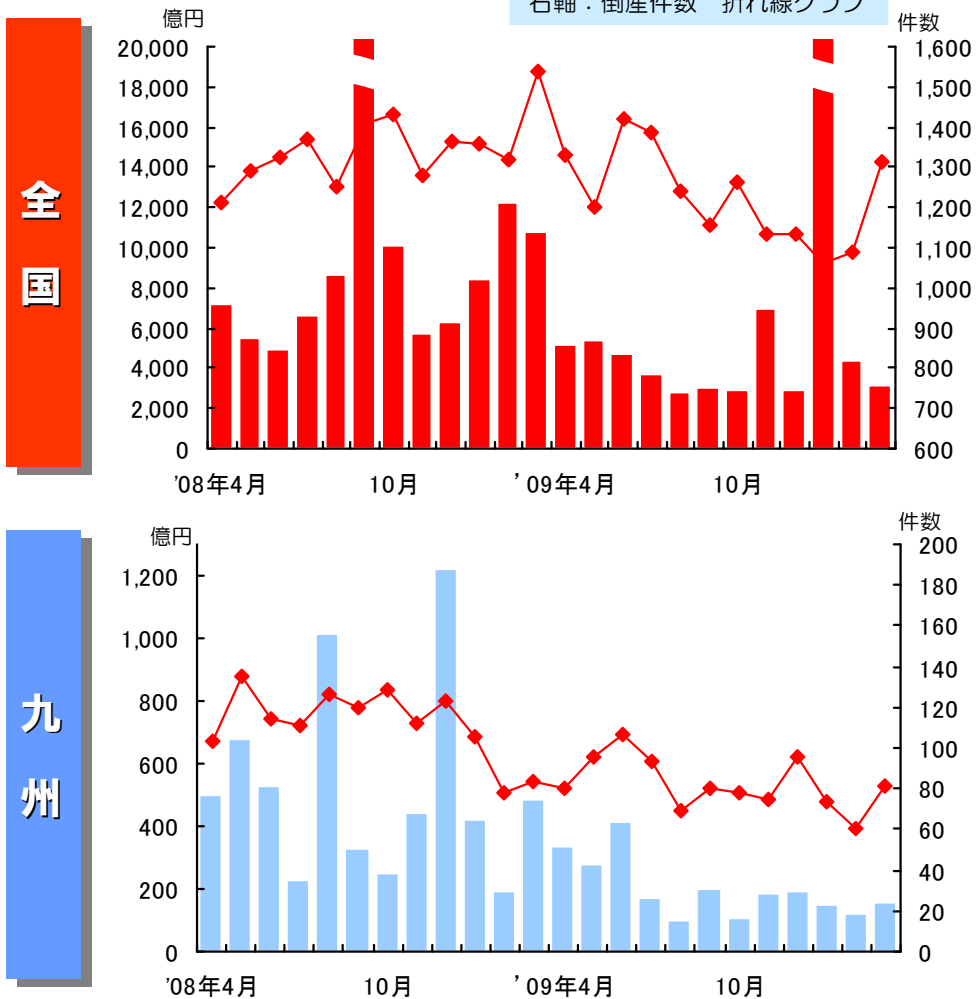
	住宅地		商業地	
	09年	10年	09年	10年
長崎市	▲ 3.4	▲ 4.1	▲ 2.2	▲ 2.9
佐世保市	▲ 4.8	▲ 4.9	▲ 3.5	▲ 4.1

企業倒産

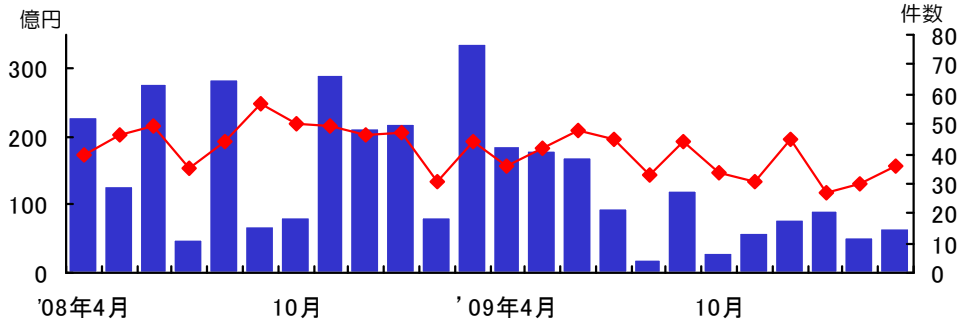
■ 九州及び地元3県の企業倒産は、緊急保証制度の効果や景気持ち直しの影響で件数・負債総額とも落ち着いた状況が続いている。

(倒産件数・負債総額推移)

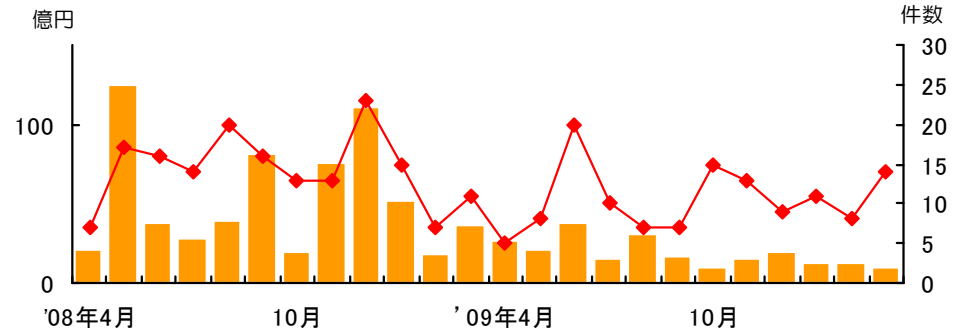
左軸：負債総額 棒グラフ
右軸：倒産件数 折れ線グラフ



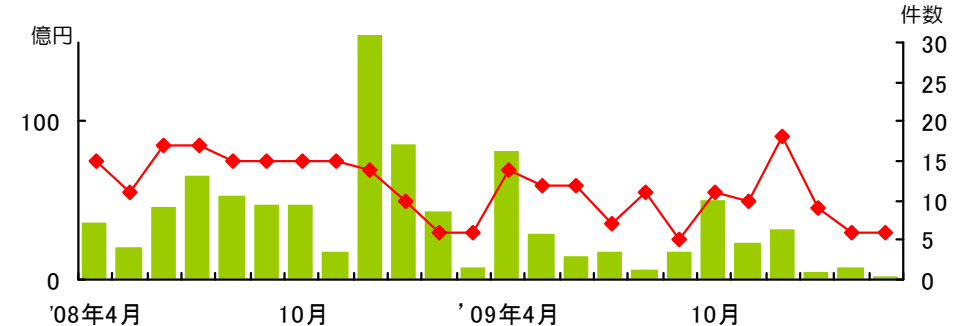
福岡県



熊本県

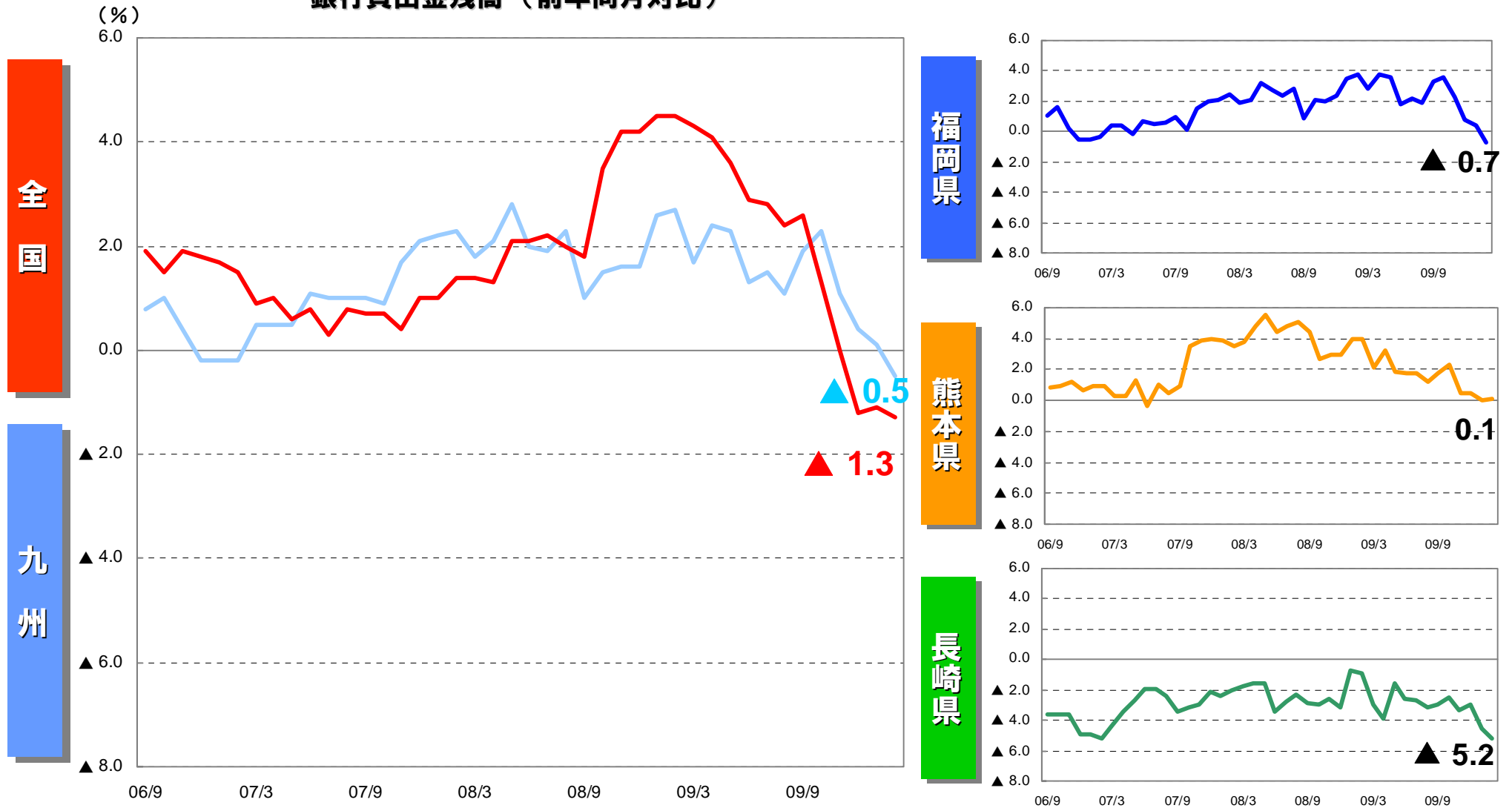


長崎県



貸 出 金

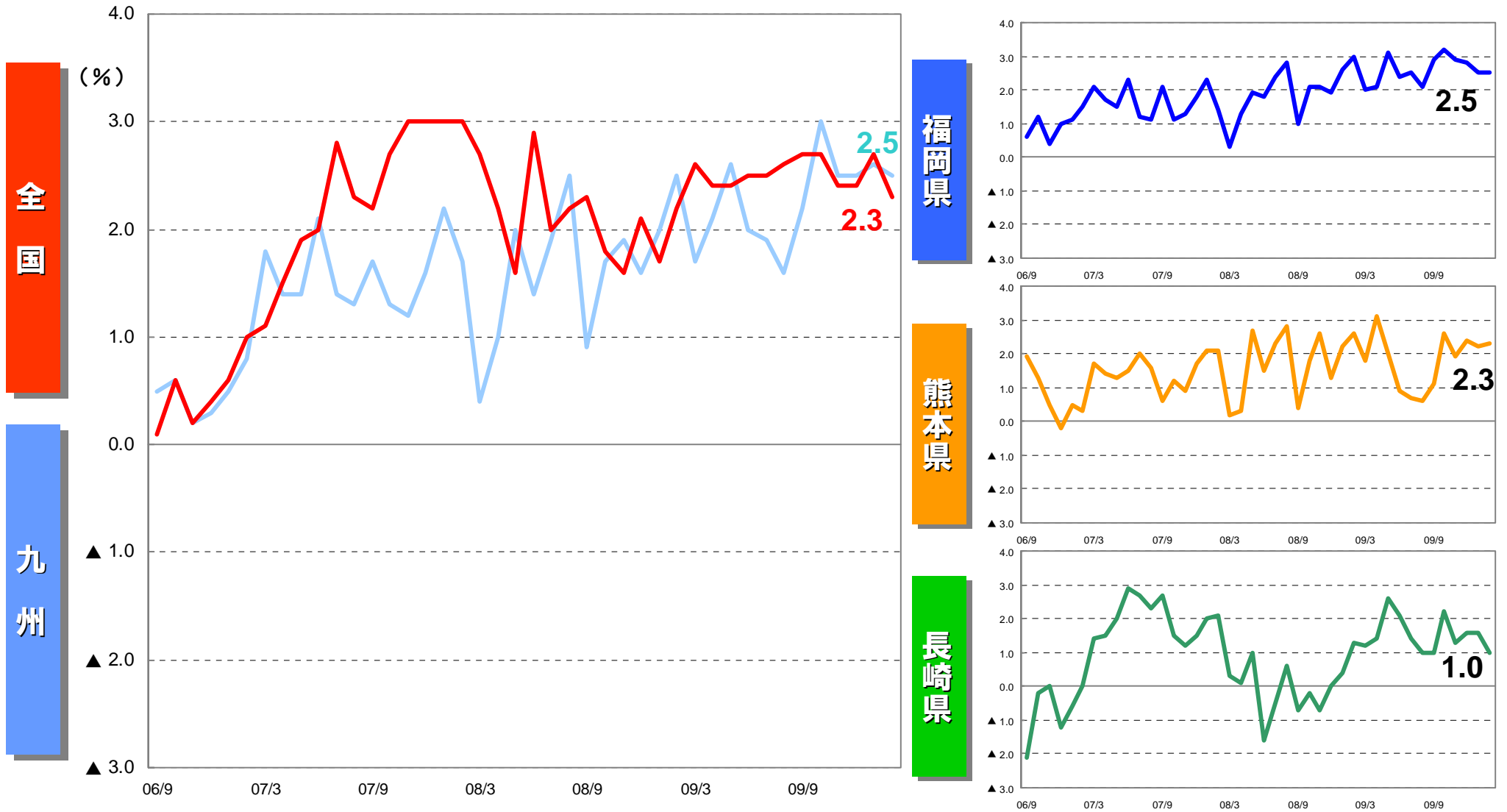
銀行貸出金残高（前年同月対比）



出所：日本銀行

預金

銀行預金残高（前年同月対比）



出所：日本銀行

主な経済指標 (1)

項目 年月	鉱工業生産指数 (総合) (2005年=100)						新設住宅着工戸数 (合計)						大型小売店販売額						有効求人倍率		
	福岡県		熊本県		長崎県		福岡県		熊本県		長崎県		福岡県		熊本県		長崎県		福岡県	熊本県	長崎県
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	戸	前年比 (%)	戸	前年比 (%)	戸	前年比 (%)	百万円	前年比 (%)	百万円	前年比 (%)	百万円	前年比 (%)	倍	倍	倍
2007年	102.4	▲ 0.2	109.3	▲ 0.3	134.0	11.4	45,066	▲ 23.6	13,286	▲ 10.3	6,901	▲ 22.8	716,699	1.0	187,676	▲ 0.6	130,307	▲ 2.7	0.85	0.82	0.62
2008年	102.7	0.3	103.6	▲ 5.3	152.5	13.8	47,139	4.6	12,542	▲ 5.6	6,942	0.6	700,451	▲ 2.3	184,134	▲ 1.9	124,827	▲ 4.2	0.63	0.63	0.57
2009年	79.6	▲ 22.5	80.3	▲ 22.5	125.7	▲ 17.6	28,997	▲ 38.5	9,842	▲ 21.5	5,767	16.9	663,772	▲ 5.2	172,785	▲ 6.2	117,941	▲ 5.5	0.42	0.38	0.41
2009.1	74.8	▲ 29.5	82.6	▲ 23.2	90.1	▲ 45.7	2,678	▲ 32.0	771	▲ 37.9	472	▲ 7.8	60,176	▲ 4.1	16,524	▲ 3.0	11,241	▲ 4.3	0.53	0.44	0.48
2	64.8	▲ 41.4	75.8	▲ 31.9	76.1	▲ 53.3	2,866	▲ 7.1	825	▲ 14.3	505	▲ 8.0	48,000	▲ 5.7	12,200	▲ 10.0	8,600	▲ 7.8	0.49	0.41	0.44
3	70.4	▲ 34.2	71.3	▲ 34.2	101.3	▲ 32.7	2,529	▲ 22.2	819	11.0	292	▲ 47.7	54,171	▲ 7.4	14,319	▲ 5.7	9,423	▲ 7.4	0.47	0.40	0.41
4	72.4	▲ 32.2	77.3	▲ 29.2	88.3	▲ 38.4	2,264	▲ 43.8	816	▲ 17.9	465	▲ 10.2	52,740	▲ 4.6	13,614	▲ 6.6	9,455	▲ 4.6	0.44	0.36	0.41
5	79.6	▲ 28.2	76.8	▲ 30.0	112.3	▲ 33.0	2,367	▲ 53.9	650	▲ 38.4	424	5.7	54,205	▲ 4.3	14,120	▲ 4.7	9,635	▲ 4.8	0.41	0.35	0.41
6	80.0	▲ 24.1	78.4	▲ 24.2	163.5	1.9	2,439	▲ 42.5	1,087	2.3	511	▲ 32.5	51,505	▲ 4.0	13,275	▲ 5.6	9,216	▲ 5.3	0.39	0.36	0.41
7	81.4	▲ 24.9	80.3	▲ 21.3	140.0	2.2	2,276	▲ 52.7	925	▲ 6.8	361	▲ 21.0	61,265	▲ 8.3	15,883	▲ 8.4	10,982	▲ 7.6	0.38	0.35	0.39
8	84.7	▲ 17.8	81.4	▲ 20.2	152.9	▲ 7.9	1,938	▲ 56.9	750	▲ 40.9	373	▲ 38.8	53,692	▲ 3.0	13,797	▲ 6.2	9,821	▲ 5.6	0.38	0.36	0.39
9	88.5	▲ 14.4	84.3	▲ 18.6	153.2	0.4	2,078	▲ 49.0	756	▲ 26.0	437	▲ 30.2	49,443	▲ 2.3	12,385	▲ 2.8	8,480	▲ 5.0	0.39	0.37	0.40
10	85.9	▲ 12.3	81.6	▲ 18.9	150.0	▲ 6.6	2,364	▲ 33.0	648	▲ 48.0	607	▲ 13.7	52,594	▲ 4.7	13,683	▲ 5.3	9,012	▲ 3.8	0.40	0.38	0.41
11	87.1	▲ 4.4	86.2	▲ 10.1	132.3	▲ 2.3	2,451	▲ 22.3	897	▲ 22.9	652	▲ 5.8	52,832	▲ 9.6	13,738	▲ 8.4	9,471	▲ 7.4	0.40	0.39	0.40
12	87.2	2.1	89.6	▲ 3.5	141.5	9.2	2,747	▲ 19.3	898	13.0	668	19.3	73,302	▲ 4.0	19,193	▲ 7.2	12,588	▲ 3.1	0.39	0.39	0.40
2010.1	92.7	21.3	96.7	15.7	120.6	32.4	2,023	▲ 24.5	727	▲ 5.7	487	3.2	57,663	▲ 4.2	15,627	▲ 5.4	10,358	▲ 7.9	0.41	0.41	0.42
2							2,364	▲ 17.5	544	▲ 34.1	424	▲ 16.0	46,251	▲ 3.6	11,868	▲ 3.1	8,161	▲ 5.3	0.42	0.41	0.42
出所	福岡県調査統計課・熊本県統計課・長崎県統計課						国土交通省						九州産業経済局						厚生労働省		

主な経済指標 (2)

項目 年月	倒産件数						貸出金残高						預金残高					
	福岡県		熊本県		長崎県		福岡県		熊本県		長崎県		福岡県		熊本県		長崎県	
	件	前年比 (%)	件	前年比 (%)	件	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)
2007年	504	0.4	139	9.4	148	18.4	134,357	2.0	28,666	4.0	24,456	▲ 2.1	170,787	1.8	47,976	1.7	40,923	1.5
2008年	545	8.1	179	28.8	178	20.3	137,598	2.4	29,535	3.0	23,693	▲ 3.1	174,098	1.9	48,615	1.3	40,931	0.0
2009年	480	▲ 11.9	127	▲ 29.1	122	▲ 31.5	138,767	0.8	29,669	0.5	22,992	▲ 3.0	179,050	2.8	49,790	2.4	41,579	1.6
2009.1	47	27.0	15	50.0	10	▲ 16.7	137,893	3.5	29,400	4.0	23,985	▲ 0.7	174,047	2.6	48,231	2.2	40,635	0.4
2	31	▲ 3.1	7	▲ 53.3	6	▲ 57.1	139,537	3.8	29,336	4.0	24,109	▲ 0.9	174,802	3.0	48,420	2.6	41,074	1.3
3	44	▲ 26.7	11	▲ 26.7	6	▲ 66.7	138,830	2.8	29,490	2.1	24,137	▲ 3.0	173,123	2.0	47,989	1.8	40,815	1.2
4	36	▲ 10.0	5	▲ 28.6	14	▲ 6.7	139,053	3.8	29,147	3.2	23,256	▲ 3.9	176,984	2.1	49,228	3.1	41,521	1.4
5	42	▲ 8.7	8	▲ 52.9	12	9.1	139,664	3.6	29,249	1.9	23,765	▲ 1.6	177,992	3.1	49,377	2.0	42,507	2.6
6	48	▲ 2.0	20	25.0	12	▲ 29.4	136,965	1.8	29,144	1.8	23,178	▲ 2.6	177,869	2.4	49,668	0.9	42,231	2.1
7	45	28.6	10	▲ 28.6	7	▲ 58.8	137,635	2.2	29,258	1.8	23,255	▲ 2.7	176,098	2.5	48,858	0.7	41,651	1.4
8	33	▲ 25.0	7	▲ 65.0	11	▲ 26.7	137,549	1.9	29,193	1.2	23,239	▲ 3.1	176,063	2.1	48,978	0.6	41,697	1.0
9	44	▲ 22.8	7	▲ 56.3	5	▲ 66.7	138,182	3.3	29,448	1.8	22,967	▲ 3.0	175,654	2.9	48,713	1.1	41,024	1.0
10	34	▲ 32.0	15	15.4	11	▲ 26.7	138,818	3.6	29,435	2.3	22,922	▲ 2.5	176,567	3.2	49,248	2.6	41,315	2.2
11	31	▲ 36.7	13	0.0	10	▲ 33.3	138,363	2.3	29,208	0.5	22,776	▲ 3.3	177,067	2.9	49,158	1.9	41,281	1.3
12	45	▲ 2.2	9	▲ 60.9	18	28.6	138,767	0.8	29,669	0.5	22,992	▲ 3.0	179,050	2.8	49,790	2.4	41,579	1.6
2010.1	27	▲ 42.6	11	▲ 26.7	9	▲ 10.0	138,416	0.4	29,409	0.0	22,896	▲ 4.5	178,408	2.5	49,298	2.2	41,280	1.6
2	30	▲ 3.2	8	14.3	6	0.0	138,534	▲ 0.7	29,362	0.1	22,851	▲ 5.2	179,162	2.5	49,529	2.3	41,501	1.0
出所	東京商工リサーチ						日本銀行						日本銀行					

本日の会社説明会に関するご照会先

株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部

- 電 話 0 9 2 - 7 2 3 - 2 5 0 2
- F A X 0 9 2 - 7 2 1 - 5 7 9 8
- E-mail ffg-ir@fukuoka-fg.com
- H P <http://www.fukuoka-fg.com>
- 担当者 高着

本日は、弊社会社説明会にご参加いただきましてありがとうございます。

本日配布いたしました資料に記述されている将来の業績予想等につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。

なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。